＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「20周年記念」記念式典事業

1 事業概要

【目的】
新市誕生２０周年を迎えることを記念し、本市のこれまでの歩みを振り返るとともに、皆様への感謝の意を表します。

【内容】
令和７年１０月１日に熊谷文化創造館さくらめいとにおいて、「熊谷市誕生２０周年記念式典」を挙行します。

【経緯】
平成１７年１０月１日に旧熊谷市、旧大里町、旧妻沼町が合併し、平成１９年２月１３日にさらに旧江南町が合併して現在の熊谷市となり、本年、２０周年を迎えます。

【効果】
全市を挙げて「熊谷市誕生２０周年記念」を冠に様々な事業を実施することにより、新市の一体感を醸成するとともに今後の更なる飛躍に向けた意識統一を図ります。

2 特徴やPRポイント

記念式典は、消防音楽隊によるオープニングアトラクションを皮切りに、国歌独唱、式辞、来賓祝辞等の式典の部、ワイルドナイツ・アルカス・ちふれ・ヒートベアーズによる対談の二部構成として実施予定です。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市長公室秘書課　　担当　長谷川・風間
連絡先　℡048-524-1111　　内線　204

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「20周年記念」秩父鉄道記念号運行事業

1 事業概要

【目的】
　熊谷市誕生２０周年を広くＰＲするとともに、秩父鉄道の積極的な利活用の促進を図るものです。

【内容】
　記念のヘッドマークを配したＳＬ記念号を運行します。また、出発式を開催し、乗車記念証などを配布します。

【効果】
　多くの方に熊谷市誕生２０周年をＰＲすることができます。また、沿線人口の減少、自家用車の普及による利用者の減少や、物価高騰などにより、旅客収益が大きく減少している秩父鉄道の利活用の促進が期待できます。

2 特徴やPRポイント

熊谷市誕生２０周年を記念した２日間限定のＳＬの運行及び乗車証などを配布します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　小森
連絡先　℡048-524-1115（直通）　　内線　529

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「20周年記念」埼玉ワイルドナイツパートナー事業
「20周年記念」プロスポーツ試合開催事業

1 事業概要

【目的】
本市を拠点に活動する、埼玉ワイルドナイツ、埼玉武蔵ヒートベアーズ及びちふれＡＳエルフェン埼玉のホームゲームで、新市誕生２０周年を祝う冠試合を開催することにより、スポーツによるまちづくりを推進することを目的とします。

【内容】
ジャパンラグビーリーグワン2025 - 26シーズンにおいて、熊谷ラグビー場で開催される埼玉ワイルドナイツホストゲームの１試合を新熊谷市誕生２０周年記念の冠試合として実施します。
◇試合前の写真撮影やＭＩＰ賞の表彰等
◇来場者限定ノベルティグッズ

プロスポーツチーム公式ＨＰ、試合当日会場での電光掲示板及び試合時アナウンス等で「新市誕生２０周年」を周知するほか、入場料について無料及び優待価格で観戦できます。
◇埼玉武蔵ヒートベアーズ：熊谷市民入場無料
◇ちふれＡＳエルフェン埼玉：入場料が優待価格

【効果】
チームＨＰ及び試合会場でのアナウンス等により、「新市誕生２０周年」を周知できるほか、プロスポーツチームのファン層拡大が期待できます。

2 特徴やPRポイント

プロスポーツチーム公式戦において、本市が冠となる試合開催は「史上初」となります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・（無））

担当者　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当　武澤、古川
連絡先　℡048-524-1135（直通）　　内線　345

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「20周年記念」みんなでお祝い！プレミアム給食事業

1 事業概要

【目的】
　新市誕生２０周年を記念し、地場産物を使用したプレミアム給食を提供します。学校給食を通じて祝賀ムードを盛り上げるとともに、本市特産品を使用することで食育と地産地消を進めます。

【内容】
　学校給食において、新市誕生２０周年記念特別メニューを児童・生徒に提供し、お祝いします。

【効果】
　学校給食は、子ども達にとって楽しみの一つであるため、食を通じて楽しみながら地元を学び、笑顔でお祝いすることができます。

2 特徴やPRポイント

　新市誕生２０周年を記念して、地元の恵みと学びが詰まったプレミアム給食を令和７年１０月に提供します。
　特別メニューには、子どもたちが喜ぶようなデザートだけではなく、地場産の小麦や野菜を使ったメニューを盛り込み、熊谷市の農産物や食文化について学ぶ機会も作ります。
　地元を学びながら味わい、元気な笑顔が広がる給食を通じて、みんなで楽しく２０周年をお祝いします。

3 その他

※ 資料の有無（　無　）

担当者　教育委員会教育総務課　　担当　鎌塚
連絡先　℡048-524-1122　　内線　547

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
保育料完全無償化

1 事業概要

【目的】
子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市独自の施策として０歳児から２歳児の保育料を完全無償化し、誰もが子育てしやすい環境を整備します。
【内容】
国の幼児教育・保育の無償化制度により、３歳児から５歳児の保育料は無償となりましたが、０歳児から２歳児の保育料は世帯の状況や保護者の所得に応じて保育料が算定されている状況です。そのため、すべての児童の保育料を無償化することで市民サービスの向上を図ります。
【対象者】
熊谷市在住の保育を必要とする０歳児から２歳児で次の施設を利用する方
保育所（園）、認定こども園、地域型保育施設等
【開始時期】
令和７年４月開始
【効果】
子育て世帯の経済的負担軽減と子どもを産み育てやすい環境の充実

2 特徴やPRポイント

市単独事業として０歳児から２歳児の所得制限のない保育料完全無償化を実施します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　福祉部保育課　　担当　山下
連絡先　℡048-524-1111　　内線　538

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業

1 事業概要

【経緯】
耐久年限が迫る市役所本庁舎の再整備については、熊谷市庁舎整備検討委員会等での検討を経て、令和７年３月に基本構想を策定する予定です。
本基本構想において、埼玉県が主体となって検討を進めている北部地域振興交流拠点整備予定地であるコミュニティひろばを、市庁舎整備の最有力の整備予定地と決定しました。

【目的】
市庁舎整備の基本構想で検討した基本理念・基本方針を具現化する基本計画を策定します。

【内容】
市役所の現状や課題等を改善し、市民に親しみやすい庁舎の基本的要件を整理します。また、ＤＸやＩＣＴの活用により、市民サービスの向上を図るとともに、職員の職場環境の改善や、環境への配慮や災害対応の充実を図る庁舎について具体的に検討します。
また、北部地域振興交流拠点の整備について、県市で連携して検討を進めます。

2 特徴やPRポイント

市庁舎をコミュニティひろばに整備することにより、まちなかの活性化を図ります。
また、市役所の分庁舎方式の解消による本部機能の集約により、市民の利便性向上と、より効率的な行政運営に資する市庁舎整備を進めます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　松岡、大木
連絡先　℡048-524-1115（直通）　　内線　528

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）第2中央生涯活動センター整備事業

1 事業概要

【目的】
老朽化した施設や更新の難しい施設を集約・複合化し、世代、活動分野を超えて、様々な人々が「集まり」・「出会う」交流の拠点となる施設を整備します。「生涯」にわたってあらゆる分野の「活動」を行える施設を目指します。

【内容】
令和９年１０月の供用開始に向け、令和７年度は、既存施設の解体工事並びに実施設計及び本体の建設工事を実施します。（解体工事費は、令和６年度３月補正予算に計上し、令和７年度へ繰り越して実施します。）

【経緯】
令和４年度に基本構想・基本計画を策定し、令和５年度は基本設計、令和６年度には実施設計を実施しています。

【効果】
多様な利用者が訪れることを想定し、安心して利用できる施設を整備します。

2 特徴やPRポイント

（仮称）第２中央生涯活動センターは２階建ての計画です。１階には生涯活動支援スペースを設け、地域活動や市民活動に自由に活用していただきます。その周りに比較的小規模の活動室を１１部屋配置します。２階には約２００名が入れるオープンサイドルームのほか、体を動かす活動による交流ができる多目的室やアクティブフィールド、防音設備のある音楽ルームを配置します。

■建設予定地：熊谷市石原１４０７―１ほか
既存建物：勤労青少年ホーム、勤労者体育センター、勤労会館、その他
■延床面積：３０４６．２３㎡

3 その他

ZEBReadyの省エネ性能水準に適合する施設とします。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　市民部市民活動推進課　　担当　遠藤
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　330

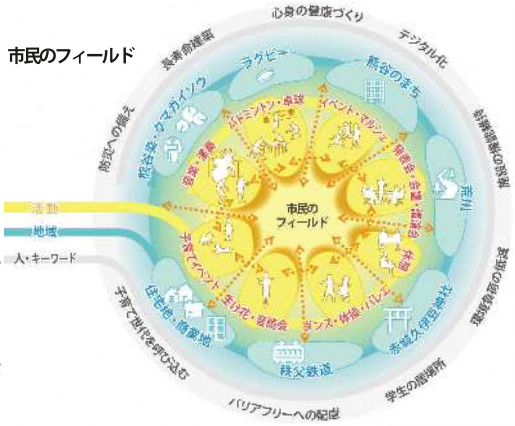


設計コンセプト

Join us Field

活動がつながる・地域とつながる　市民のフィールド

・生涯にわたってさまざまな活動ができる市民のフィールドをつくります。熊谷の市民の活動のシンボルとしてまち全体に深く根付く施設を目指します。
・市民の活動を公開する設えとし、互いの活動に対して興味・関心を高める空間構成とします。
・市民の活動が地域に波及し、賑わう施設とします。周辺地域や熊谷の資源とつながり、調和する施設をつくります。



設計方針

設計コンセプト、基本構想を踏まえて、４つの設計方針を示します。

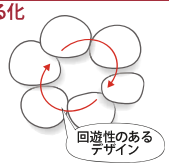
（１）現行施設の機能を発展的に維持

・多種多様な活動に対応した設えをもつ部屋をつくります。
・ユニバーサルデザインとバリアフリーを徹底した施設とします。



（２）市民活動の見える化

・市民が交流でき、活動の情報、様子が見える空間構成とします。
・新しい世代が利用しやすい環境をつくります。



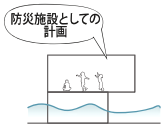
（３）周辺地域の景観づくり

・周辺地域の緑と連続する外部環境を形成します。
・限られたスペースを最大限に生かした配置計画とします。



（４）社会インフラとしての施設整備

・災害時に備えた施設とします
・ZEB Ready 取得を目指します
・長寿命な建築計画とします



建築概要

（1）計画地

建設予定地	埼玉県熊谷市石原字上宿地内
敷地面積	7,683.01㎡
都市計画区域	都市計画区域内
用途地域	第一種住居地域
防火地域	防火地域外、準防火地域外
その他地域	法22条地域
指定容積率	200%
指定建蔽率	60%（角地の緩和により70%）
高度地区	指定なし
日影規制	規制あり

（2）計画建物

建物用途	生涯活動センター
構造種別	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、基礎構造：直接基礎
延床面積	3,046.23㎡ 1階：1,559.83㎡　2階：1,486.40㎡ （車庫等の部分：98.20㎡）
階数	2階建て
駐車台数	自動車　134台 バイク　10台 自転車　40台

（3）主要な仕上

〈外部仕上〉
床　：ポーラスコンクリート舗装、
　　アスファルト舗装、人工木材ウッドデッキ
壁　：化粧コンクリート打ち放し
屋根：アスファルト防水及び、シート防水
軒天：化粧コンクリート打ち放し

〈内部仕上〉
床　：ビニル床シート、天然リノリウム床シート
壁　：化粧コンクリート打ち放し、
　　石膏ボードの上塗装
天井：グラスウールボード、
　　ロックウール化粧吸音板

（4）建築設備

空調換気設備：全熱交換器+個別式パッケージエアコン
給水方式：直結直圧給水方式
排水方式：汚水雑排水合流自然流下方式
消火設備：屋内消火栓（易操作性1号消火栓）、
　　消火器

（5）その他

ZEB目標：ZEB Ready（BEI≦0.5）

配置計画

（１）異性質の３つのエリアとの調和

・建物は、施設内外の活動が表出するように北東側に設け、幹線道路から視認される市民の活動のシンボルとなる施設とします。また、住宅地への日影、騒音の影響に配慮した配置とします。

（２）敷地の有効活用

・不整形な敷地形状を最大限生かした建物形状とします。

・南，西側には、駐車場を配置し、住宅地とのバッファーゾーンとします。

・駐車場は、整形とし駐車の安全性に配慮します。

（３）周囲と連続した緑による景観づくり

・敷地東側には、神社の緑と連続するよう緑地を広くとります。また、その他の敷地外周部にも樹木を連続して配置し、良好な自然環境を形成します。

（４）活動をまちに創出する

・敷地全体で市民が利用できる活動ゾーンをつくります。

・北側に広場（オープンサイドパーク）を設けて、イベントなどでの利用を想定します。キッチンカーの乗り入れも可能な仕様とします。

外構計画

（１）雨水排水計画

・雨水は敷地内処理を原則とし、敷地中心に建物を配置していることから、雨水浸透処理施設を ２ヶ所設けます。豪雨時に処理能力を超えた場合のみオーバーフロー分を公共雨水排水管へ放流します。

（２）樹木選定

・東側の緑地帯は、神社の雑木林と調和したコナラ、コブシ、シラカシなどの樹木を植栽します。高木・中木の広葉樹をランダムに植栽し、夏季の日射を遮る効果もつくります。

立面計画

（１）市民の活動のシンボルをつくる

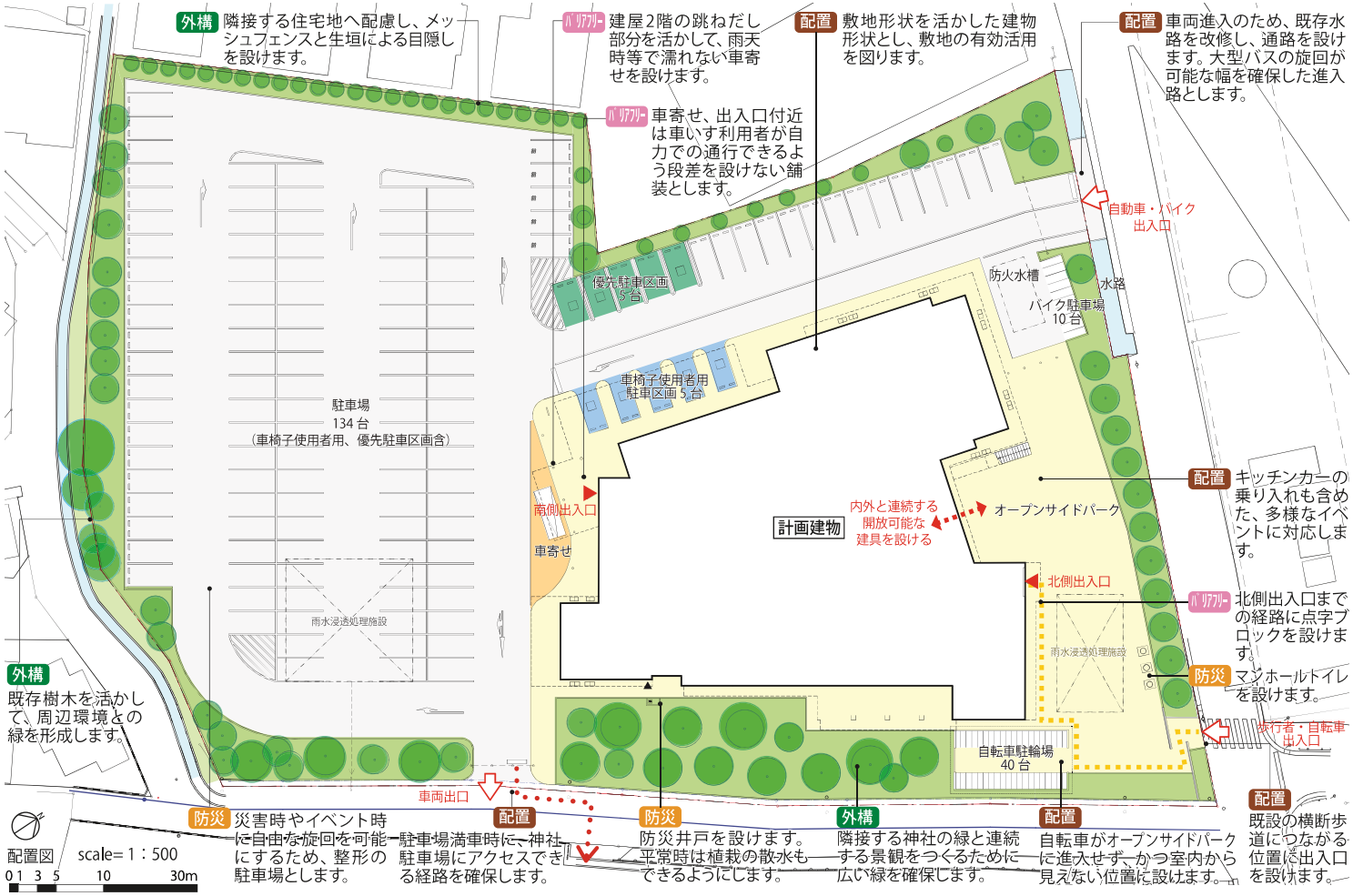
・敷地北側の幹線道路や拡幅する東側道路に対しての見え方に配慮します。施設内での活動がまちに表出するように、ガラス面を多く用いたデザインとします。

・外壁はコンクリート打ち放しとし、シンプルかつシンボリックにします。また仕上げないことで建設コストを削減します。

（２）日射抑制

・1階の貸室ガラス面には、庇を設け、夏期の直射日光を制御します。

・西面は、西日を抑制するために開口部を少なくします。





北側からみたイメージ



北側の前面道路からみたオープンサイドパーク



西側外壁のイメージ

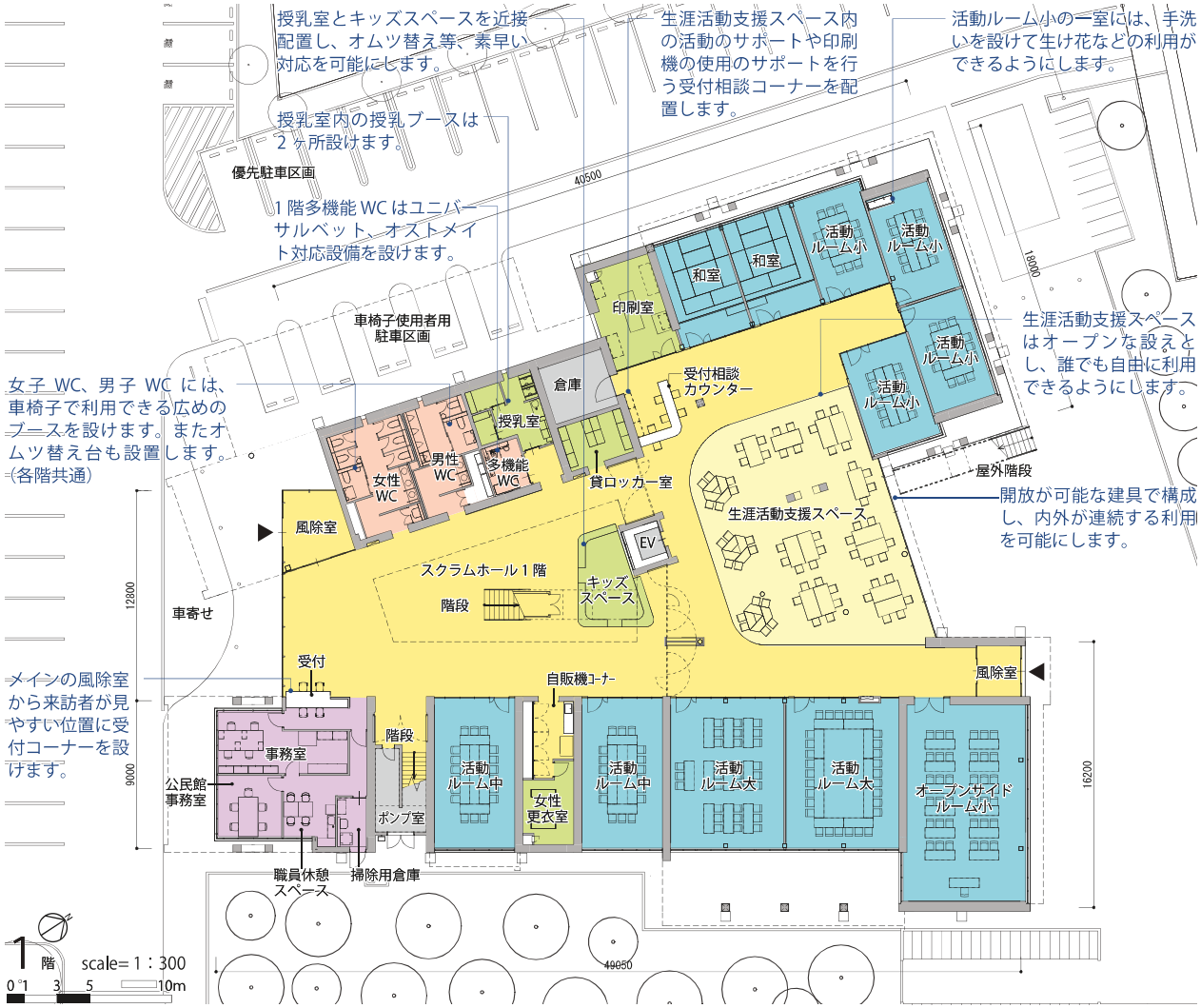
平面計画

（１）施設の一体感をつくる

・誰でも自由に利用できるホール（スクラムホール）を施設の中心に据え、その一角に「生涯活動支援スペース」を設けます。
・活動ルームや多目的ルームなどの貸室は、ホールを取り囲むように配置し、施設全体で回遊できるようにします。
・貸室とホールの間は、ガラス張りとし、室内の活動の様子を他の利用者が感じられるようにすると共に、ガラス面の視線の高さに半透明の目隠しフィルムを貼り、貸室利用者に配慮します。

（２）１階 平面・内部空間の計画

・比較的利用頻度が高い会議主体の活動ができる貸室を配置します。
・南側出入口付近、ホール全体が視認できる南側の一角に、管理諸室を設け、来訪者・利用者の対応を行いやすくします。
・生涯活動支援スペースは人数に合わせて自由に机を動かして利用できるようにします。
・子育て世代の利用に配慮し、アクセスしやすい位置に、キッズスペース、授乳室、和室を設けます。





生涯活動支援スペースのイメージ



スクラムホール１階のイメージ


活動ルーム大のイメージ

（３）2 階 平面・内部空間の計画

・２階には、運動や音楽の演奏ができる貸室をまとめて配置します。
・スクラムホール２には、吹抜けを設けて１階の活動が連続する空間とし、一体感のある施設構成とします。
・部屋のサイズが大きな「アクティブフィールド」と「オープンサイドルーム大」は、第二避難所としての利用を想定します。災害時には、照明設備やコンセントが利用できるようにします。
・多目的ルーム、アクティブフィールドはそれぞれの運動、活動がしやすいように、クッション性のある床材を使用します。
・上下階で男女の更衣室を分けます。

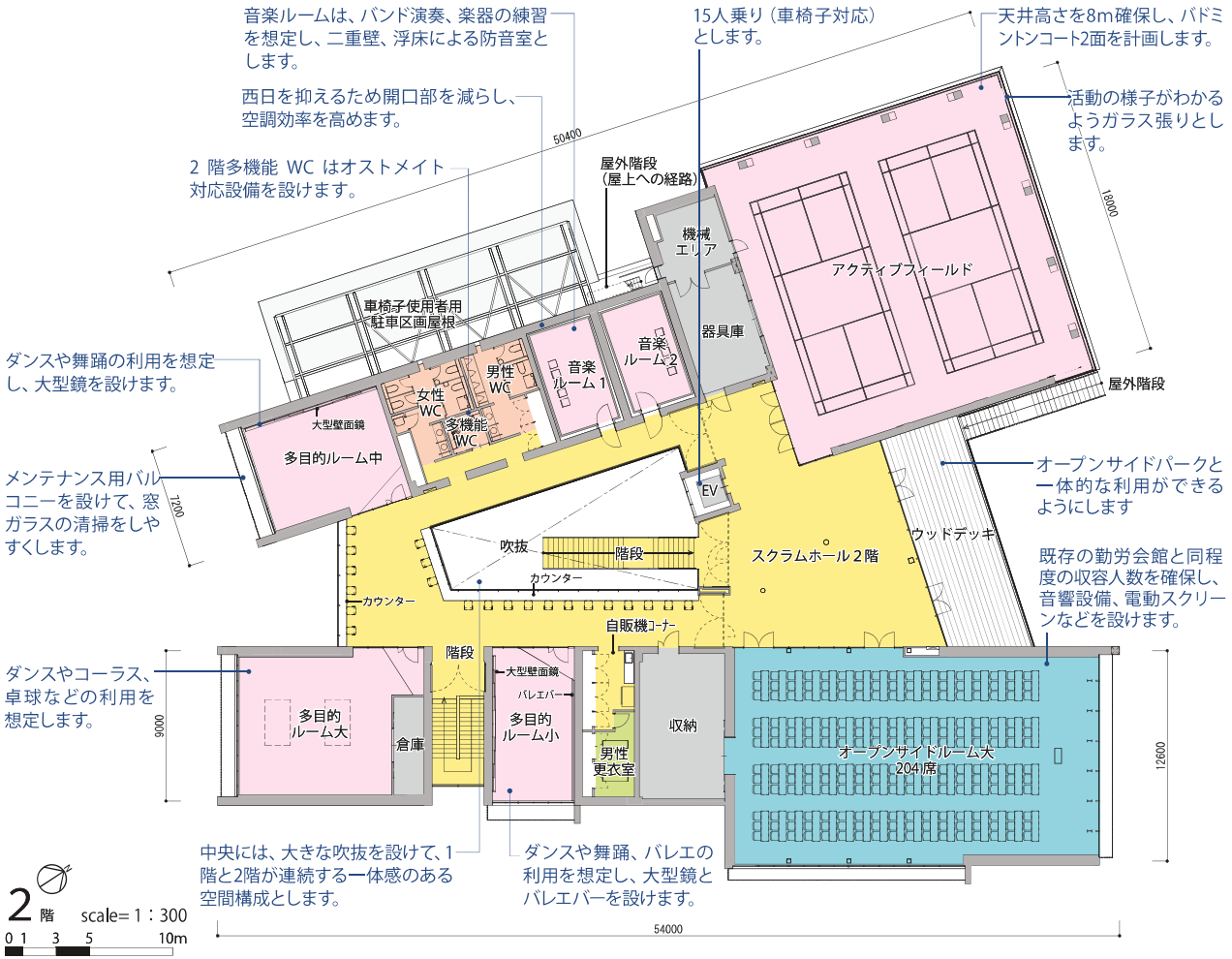
各種計画

（１）コストパフォーマンスに優れた床スラブの採用

・床は、遮音性に優れたボイドスラブを採用し、さまざまな活動による騒音・振動を抑えます。ボイドスラブにより、梁の高さをスラブの厚みと合わせることが可能になり、梁型の無い断面形状をつくります。梁型を無くすことでフラットな面をつくり天井仕上げを無くすことができます。

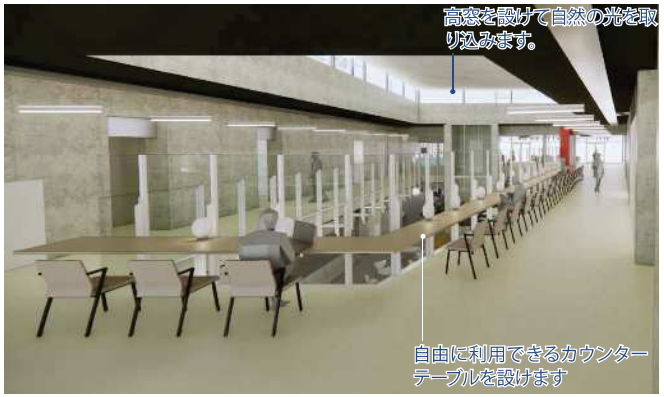
（２）来る災害に備えた浸水対策

・設備機器は、すべて屋上に設置します。
・器具庫の一角には、防災備蓄品を保管するスペースを確保しておきます。





アクティブフィールドのイメージ



スクラムホール２階のイメージ



オープンサイドルーム大のイメージ

＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
荒川公園周辺再整備事業

1 事業概要

【目的】
市民体育館の建て替えを含めた荒川公園周辺の再整備に当たり、ワークショップ等を実施するなどし、より多くの市民や利用者の声を反映した基本計画を策定します。

【主な内容】
◇ 荒川公園周辺再整備基本計画策定
老朽化した市民体育館の建て替えと隣接する荒川公園周辺再整備に当たり、事業計画地周辺住民や市民体育館利用者等の声を反映させるため、ワークショップやアンケート等を実施し、新体育館に求められる機能等を整理した上で、再整備の基本的な内容をとりまとめた基本計画を策定します。

◇ 民間活力導入可能性調査
整備・運営に関して民間活力を導入する場合の事業スキームを検討し、民間活力導入の効果及び課題等を整理した上で、民間活力導入事業の実施可能性について調査します。

2 特徴やPRポイント

令和７年度から令和８年度までの２か年で基本計画策定に取り組みます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無）

担当者　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当　楠原、和久津
連絡先　TEL048-524-1760（直通）　　内線　349

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
子育て支援・保健拠点施設整備事業・(仮称)中央保育所開設準備事業

1 事業概要

【目的】
老朽化が進行する保育所や保健施設等の再編及び機能移転と、子どもの遊びの場・学びの場や子育てに関する相談機能を有する（仮称）こどもセンターの整備を複合的に行い、子育て・保健に係る機能の充実や連携強化を図ります。

【内容】
4棟5施設の複合施設です。
・（仮称）こどもセンター及び（仮称）新石原児童クラブ（約3,220㎡）
・（仮称）保健センター（約2,200㎡）
・（仮称）中央保育所（約1,830㎡）
・ 休日・夜間急患診療所（約400㎡）

【効果】
・行政と民間事業者が連携し、子育て支援と健康づくりに関するきめ細かいサービスを提供します。
・遊び、学びと相談の場が併設された、子育て世代の憩いの場を整備し、子どもの健康や発育、発達に関する不安、保護者の心身の不調や育児不安など、複合的な問題の早期発見や深刻化の防止に繋げていきます。

2 特徴やPRポイント

・DBO方式を採用し、建設・運営事業者が設計段階から関わったことで、無駄のない施設配置、動線計画となりました。
・（仮称）こどもセンターの運営においては、民間事業者のノウハウが発揮され、多様な遊びの場、学びの場を提供します。
・敷地の屋外には子どもの遊び場のほか、ウォーキングコースや健康遊具コーナー等を設け、健康づくりのために多世代で利用できる施設とします。
・（仮称）こどもセンターの軽体育室や音楽室などは、夜間に一般貸し出しを行い、多世代が利用できる施設とします。
・（仮称）中央保育所は、荒川、銀座、石原、玉井保育所の市内４つの公立保育所を統合し、１５０人定員の保育所として開設します。

3 その他

令和７年度は各種委託業務が完了し、令和８年４月に施設完成予定です。
維持管理運営等モニタリング支援業務委託、開業準備期間の光熱水費、維持管理運営に関する開業準備経費等の予算を見込んでいます。
＜事業スケジュール＞
令和８年１月～令和８年３月 開業準備期間
令和８年４月開業予定

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者 福祉部こども課・保育課
担当 こども課：原口・新島
保育課：江原
連絡先 TEL048-524-1111
内線 こども課255・保育課535

熊谷市子育て支援・保健拠点施設【全景】



（仮称）こどもセンター、（仮称）新石原児童クラブ



（仮称）保健センター



（仮称）中央保育所



休日・夜間急患診療所



内観透視図　（仮称）こどもセンター　プレイルーム　※想定のイメージです



＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
スマートシティ推進事業

1 事業概要

【目的】
デジタルと人の力により地域の快適性と持続性を確保するため、スマートシティの取組を推し進め、市民参加とデータ活用による先進的なまちづくりの実現を図ります。

【主な内容】
①【データ連携の推進、拡充】データ連携基盤と熊谷駅周辺に設置している気象サーバPOTEKAの風向きデータを連携させることにより、暑さ対策スマートパッケージのサービス拡充を図ります。
また、シェアサイクルアプリの利用者が「クマぶら」とのデータ連携に同意すると、シェアサイクルの利用によりコミュニティポイント「クマポ」が付与される仕組みづくりを行います。

②【クールシティ産業創出】令和６年度に実施したスマートクールシティワークショップの実施を通じて得た知見等を活かしたクールシティワークショップを実施するほか、暑さ対策産業の創出に向け多様な関係者と密に連携し、データの蓄積やまちづくりにつなげるノウハウの蓄積、担い手の育成を行います。

③【スマートシティ加速のための流れづくり】スマートシティプロジェクトをさらに加速させるため、新産業創出に向けた企業連携の検討を行います。また、市民・企業・団体・学校・市役所が熊谷の未来や、夢がかなうまちづくりなどについて、自由な雰囲気で語り合うことができる場所として運営している「コミュニティラボ」の取組を強化するとともに１周年記念イベントを開催します。

④【データ活用まちづくり】市民参画によるデータ分析やデータ活用を通じて、サービスの利用促進や改善、地域課題の解決に向けた施策の立案に活用します。
データ活用まちづくりに関する取組を市内外に広くＰＲし、公民連携の輪を広めるため、１１月に「データドリブンシンポジウム2025」を開催します。
※データドリブンとは「データに基づく判断、業務運営を行う」の意

【効果】
・ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション） による市民生活の利便性向上
・民間所有データの取得及び連携による、さらなるデータ利活用の推進
・多様な関係者との連携の構築による、新たな経済活動の創出

2 特徴やPRポイント

データドリブンシンポジウム2025は、一般財団法人自治総合センターが実施する令和７年度シンポジウム助成事業の対象事業。全国的にも珍しい取組となります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　市長公室政策調査課　　担当　市原・森
連絡先　048-524-1111　　内線　316・368

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
乗合型AIオンデマンド交通の運行（総合交通体系整備促進事業）

1 事業概要

【目的】
高齢化に伴い、コミュニティバスの定時定路線運行では対応しきれない交通需要が生じてきている中で、地域公共交通の持続のため、既存路線バス等の支線として、乗合型ＡＩオンデマンド交通の運行を開始します。
【内容】
妻沼地区内に停留所を３００m間隔で約１００か所設置し、エリア内での予約に応じた停留所間を運行します。ＡＩを活用し、複数の利用者予約からリアルタイムに最適な配車を行います。車両は５～６名程乗車可能な小型車両２台で運行します。
○運行エリア：市内北部地区（妻沼エリア）
○運行時間：平日８時から１７時
○利用料金：１回３００円（片道）
○予約方法：スマートフォンアプリ及び電話
○運行開始時期：令和８年１月（予定）
【効果】
高齢化や運転士不足といった課題に対し、市民の移動手段の維持・確保を図ります。交通結節点を設け、乗り継ぎによる既存路線バスの利用促進も図ります。妻沼地区での運行実績を踏まえ、妻沼以外の地区へのＡＩオンデマンド交通展開の検証を進めていきます。

2 特徴やPRポイント

利用者に制限は設けず、免許返納者等の移動困難者を中心に観光客等市外在住の方にも利用いただけます。
コミュニティバスの利用頻度が低いエリアについては、将来的に予約に応じて運行するＡＩオンデマンド交通へ置き換え、段階的に路線再編を検討していきます。市民の移動ニーズ把握のため当面は、現行のコミュニティバスの運行形態はＡＩオンデマンド交通の運行と並行して維持します。
移動困難者のニーズに応えるとともに、既存路線バスやタクシーとの共存を図り、交通資源の効率的活用と持続可能な地域公共交通の構築を目指します。

3 その他

○妻沼地区を導入エリアに選定した理由
・区域の中心に市街地が形成され、商店や医療機関等が立地している妻沼の様な地域が、比較的乗合が成立しやすく、一度の運行で多くの輸送力を発揮できます。
・エリア内でコミュニティバスの需要の高い地域、低い地域が混在しており、一部をオンデマンド交通へ置き換える余地があります。
・バス路線網の無い交通空白地域が存在します。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部企画課　　担当　樋口・小森
連絡先　℡048-524-1115（直通）　　内線　529

＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
スポーツ施設AIカメラ設置事業

1 事業概要

【目的】
　ＡＩカメラを用いて撮影した映像の配信や試合の分析等を行うことができる環境を整備することで、スポーツを「する」だけでなく「みる」、「ささえる」機会の創出を図ることを目指します。
　また、撮影した映像をもとに地元大学と連携してデータ分析をすることで利用者への競技力向上に寄与することを目的とします。

【内容】
① スポーツ文化村「くまぴあ」にＡＩカメラを設置
② 地域スポーツ団体とデータ分析者間でデータ利用の目的と目標を設定
③ ＡＩカメラにより地域スポーツ団体の練習・試合を自動で映像化
④ 撮影した映像と映像分析ソフトを使用し、個人及びチームのパフォーマンスや戦術データを分析し、その結果を地域スポーツ団体の監督、指導者、選手にフィードバック
⑤ ②で設定した目的・目標に対する効果を測定

【効果】
　試合のライブ配信、自動ハイライト生成、練習のデータ分析、フィードバックのサービスを提供することで、利用者をはじめ地域スポーツの課題解決が多角的に進められます。また、テクノロジーを活かした映像配信やデータ分析は、従来の方法では見られなかった新しい視点やアプローチを提供し、地域スポーツの発展に寄与することができます。
　スポーツ熱中都市宣言をして、スポーツに力を入れていることもあり、スポーツ×デジタルで、新たな環境価値の付加が期待できます。

2 特徴やPRポイント

県内自治体による本取組は初となります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当　小島
連絡先　℡048-524-1135（直通）　　内線　345

＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
スマート農業推進支援事業

1 事業概要

【目的】
スマート農業技術導入を加速させ、より生産性の高い食料供給体制を確立するとともに、農業の持続的な発展を図ることを目的とします。

【内容】
認定農業者・認定新規就農者が導入するスマート農業機械に係る経費の一部を補助します。補助率は3/10以内、限度額６０万円。

【効果】
先進的技術の導入により、生産性向上、作業の効率化・軽減化、農業者の維持、農地の保全等が期待されます。

【事業費】
６，０００千円

【補助条件等】
・購入する農業機械について国、県及び市の補助を受けていないこと
・市税に滞納がないこと
・令和7年度に購入する、「スマート農業技術カタログ（農林水産省）」に掲載された機械であること
・新規事業。事業期間は令和７年度～令和９年度の３年間を予定

2 特徴やPRポイント

【特徴】
スマート農業技術については、従来の機械より高額な導入費用を伴うことが課題となっており、導入費用の一部を補助することで、積極的な導入を推進します。
【ＰＲポイント】
この事業は、令和７年度から令和９年度の３年間の予定で実施する市単独補助事業です。

3 その他

申請書類、受付期間等は、市ホームページやくまがや農委だより等でお知らせする予定です。

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　産業振興部農業政策課　　担当　田口
連絡先　048-588-9987(直通)　　内線

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
クマPAY発行事業

1 事業概要

【目的】
市内経済循環や市内のキャッシュレス化の推進を目的に、引き続き、熊谷市地域電子マネー「クマＰＡＹ」を発行し、熊谷市内の日常の決済手段として運用します。

【内容】
スマートシティの一環として、熊谷市地域電子マネー「クマＰＡＹ」を発行し、熊谷市内のキャッシュレス決済手段として定着を図ります。
また、市で交付している補助金や贈答用での交付やイベントでの利用など「クマＰＡＹ」の利用機会を増やし、利用拡大に向けた取組を行います。

【効果】
市外に流出している消費を囲い込み、地域経済の活性化を図ります。
また、大手キャッシュレス決済事業者と比較し加盟店への手数料等がかからない仕組みになっているため、市内事業者のキャッシュレス化も期待できます。
「クマＰＡＹ」のみキャッシュレス決済を導入している加盟店も増加しています。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
地域電子マネーという性質を活かし、市の様々な事業で活用できるシステムを構築し、施策に反映させる運用を実現します。
【ＰＲポイント】
取扱加盟店は市内に８８９店舗あり、随時募集中で毎年増加しています。
熊谷市内でお得にご利用できるキャッシュレス決済です。

3 その他

「クマＰＡＹ」で決済した金額の１％還元も継続します。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　柳川
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　499

＜速報＞
令和6年度3月補正予算（案）概要
令和7年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

クマPAY普及促進事業

1 事業概要

【目的】
市内の取扱加盟店で使える熊谷市地域電子マネー「クマＰＡＹ」の普及促進や消費喚起を図るキャンペーンを実施します。

【内容】
令和７年度は熊谷市誕生20周年を記念し、還元総額1億5,000万円のキャンペーンを実施します。
詳しいキャンペーンの内容は、令和７年夏頃に公表予定です。

【効果】
・市外に流出している消費を囲い込み、地域経済の活性化を図ります。
・大手キャッシュレス決済事業者と比較し加盟店への手数料等がかからない仕組みになっているため、市内事業者のキャッシュレス化も期待できます。
・「クマＰＡＹ」のみキャッシュレス決済を導入している加盟店も増加しています。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
地域電子マネーという性質を活かし、市の様々な事業に活用できるシステムを構築し、スピード感をもった運用を実現します。

【ＰＲポイント】
取扱加盟店は市内に８８９店舗あり、随時募集中で毎年増加しています。
熊谷市内でお得にご利用できるキャッシュレス決済です。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部商業観光課　担当　金井
連絡先　℡048-524-1111　内線309

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
橋りょう点検DX化事業

1 事業概要

【目的】
道路法で義務付けられた５年に一度の橋りょう点検について、デジタル技術等を活用し、点検作業のコストの削減に加え、安全性の向上、効率化及び持続化を図ります。

【内容】
ドローン等により撮影された画像データから、コンクリートのひび割れや塗装の劣化状況をＡＩにより解析し、損傷の状態等を判定することにより、橋りょう点検の効率化を図ります。
令和７年度は、熊谷市の管理する橋りょうへのＡＩ解析技術の適応性等について検証を行います。

【効果】
ＤＸ化により点検作業の安全性の向上や効率化が進み、橋りょう点検にかかるコストを削減することが可能となります。また、ＡＩ等による解析技術を導入することにより、点検精度の向上や、損傷の早期発見を図ることが可能となります。

2 特徴やPRポイント

熊谷市の管理橋りょう数は１，０００橋を超えており、点検作業の効率化やコスト縮減を図ることが大きな課題です。また、今後、官民ともに熟練の技術者が減少することが予想され、適切な維持管理業務を持続していくことも大きな課題です。他の自治体に先駆け、橋りょう点検のＤＸ化を進め、維持管理コストの削減や持続化等に取り組みます。
過年度に実施した３Ｄモデルを活用した技術に加え、ＡＩによる画像診断技術の導入を進めることにより、橋りょう点検の更なるＤＸ化を進めます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　建設部維持課課　　担当　金子
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　543

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
都市空間情報デジタル基盤構築事業

1 事業概要

【目的】
３Ｄ都市モデルの利活用を促進するため、官民連携で利用可能なＷｅｂＧＩＳプラットフォームを拡張しユースケース開発を進めることで、熊谷スマートシティの理念を根付かせ、市民目線での政策立案とまちづくりへの参画を推進します。

【内容】
熊谷駅、籠原駅周辺について、より精緻なデータ分析が可能になるＬＯＤ２範囲の拡張を行うとともに、浸水３Ｄポリゴンデータを活用した早期避難や避難所開設に向けた意識共有を図るワークショップ、市内の県立高校３校と連携しまちづくりシミュレーションを行う「高校生まちづくりワークショップ」を開催します。

【影響・効果】
市内に在住、在学する方に対し、３Ｄ都市モデルに関する更なる情報提供や体験の機会を創出します。
浸水時の拡大状況を可視化することで防災意識の向上、高校生目線の発想や着眼点から「訪れたい・住みたい街」の実現に向けた提案に取り組んでもらうことで、都市計画の立案への活用や、次世代の担い手の育成に繋がることが期待できます。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
デジタル空間における各種シミュレーション分析を促進するため、ＷｅｂＧＩＳをオープンデータ化することで、ＤＸ推進に向けた多様な機会を創出します。
【ＰＲポイント】
高校生まちづくりワークショップは、市内の県立熊谷高校、熊谷女子高校、熊谷西高校の探究活動の一環として実施する予定です。

3 その他

令和６年度「高校生まちづくりワークショップ」実施実績
熊谷西高校 普通科、熊谷工業高校 情報技術科、熊谷商業高校 総合ビジネス科

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　都市整備部都市計画課　　担当　小谷・笛木
連絡先　℡0493-39-4807（直通）

【参考】令和６年度「高校生まちづくりワークショップ」の概要

1 まちづくりの課題や解決策、政策提言について学ぶ





2 学んだ課題等について街中を歩き、観察するフィールドワーク





3 ３Ｄ都市モデルによるまちづくりシミュレーション・校内発表会





4 各校代表がまちづくりのプレゼンテーションを行う「全体発表会」





＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
ワイルドナイツ連携事業

1 事業概要

【目的】
　本市を拠点に活動する埼玉ワイルドナイツが地域に愛されるために、ホームタウンとして共に盛り上げていきます。

【内容】
　ファン交流イベントや応援バスツアー(プレーオフトーナメント進出の場合)などを実施します。
　イベントだけでなく、熊谷駅をはじめとする市内に埼玉ワイルドナイツに関連したシティドレッシング(横断幕やのぼり旗等)を行います。

【影響】
　イベント開催やシティドレッシングにより、市民だけでなく市外からの来訪者に対し、ラグビータウン熊谷の浸透を図ります。

【効果】
　市民に対してラグビーをより身近に感じてもらうとともに、ラグビーを通じた関係人口の創出にも寄与し、本市のシティプロモーションの効果が期待されます。

2 特徴やPRポイント

・埼玉ワイルドナイツは、トップリーグ最後の王者、リーグ初代王者に輝き、2019年のラグビーワールドカップ日本大会には、１１人の選手が日本代表に選出されました。
・2023年のラグビーワールドカップにも多くの選手が選出され、今シーズンのリーグワン優勝が期待されています。
・地域に愛されるチームになることで、より一層地域で一体感が生まれ、「ラグビータウン熊谷」の理念浸透の効果が期待されます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当　曽根田、滑
連絡先　℡048-524-1135(直通)　　内線　345

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
プロスポーツチーム等連携事業

1 事業概要

【目的】
本市をホームタウンとして活動するプロスポーツチーム等と連携し、継続的なホームゲームの盛り上げや応援機運醸成等を図ることで、スポーツによる新たな交流や賑わいの創出を図ります。

【主な内容】
◇ チーム共同プロモーション
本市で開催される試合やチームの認知度の向上、ホームゲーム観戦者の増加を図るため、各チームのマスコット等をデザインしたホームゲームＰＲパネルを市内各所に設置します。

◇ シティドレッシング（広報活動）
市民や市外からの来訪者を含め、地域が一体となりチームを応援する機運醸成を図るため、スタジアム周辺や熊谷駅等において、チームと連携した広報物によるシティドレッシングや広報活動を実施します。

◇ チーム運営支援
チームが実施する市民・転入者向け観戦優待、ホームゲームの試合運営等を支援し、市民のチームに対する愛着の醸成やファン層の拡大を図ります。

2 特徴やPRポイント

【ポイント】熊谷では年間を通してプロスポーツの試合が開催されています
・リーグワン：12月から５月頃まで　・ＢＣリーグ：４月から９月頃まで
・ＷＥリーグ：９月から５月頃まで

3 その他

【本市を拠点に活動しているスポーツチーム】
・「埼玉パナソニックワイルドナイツ」・「アルカス熊谷」（ラグビー）
・「埼玉武蔵ヒートベアーズ」　（野球）
・「ちふれＡＳエルフェン埼玉」（サッカー）

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当　楠原、鈴木
連絡先　℡048-524-1760（直通）　　内線　349・391

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
イベントチラシ掲示板事業

1 事業概要

【目的】
市内で開催されるイベント等の開催情報を集約、見える化して、来訪者の増加を目指します。
【経緯】
これまで、イベント周知が浸透せず、「熊谷では多くのイベントが開催されているのに、イベント内容を知る機会が少ない。イベントが終了してから、開催されていたことを知った。」との声が多く寄せられたことから、イベント情報を発信できる本システムの構築に至りました。
【内容】
市だけでなく市民（イベント主催者等）自らがイベント情報（イベント名、日時、場所や特定の属性）を簡単かつ迅速に投稿できるシステム（ウェブアプリ）を構築し、令和８年１月（予定）、サービスを開始します。
【効果】
地域で行われているイベント等を知ることができる本システムの構築で、「週末にどこへ出かけよう？」「お店のお得なイベントがあるかな？」などすぐに検索でき、地域コミュニティの活性化や地域行事への参加意欲向上が期待できます。

2 特徴やPRポイント

都市ポータルアプリ「クマぶら」と連携して、クマぶら上のマップで閲覧者自身の位置情報からも表示を可能とします。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　金井
連絡先　℡048-524-1111　　内線　309

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷グルメイベント実施事業

1 事業概要

【目的】
平成２９年から３年間、本市を会場として開催された「全国ご当地うどんサミット」では、本市のご当地うどんである「熊谷うどん」のＰＲが行われました。うどんサミットのレガシーとして、本市における「うどん文化」を引き続き市内外に発信し、市内グルメのＰＲと観光振興を図ります。

【内容】
令和４～６年度に引き続き、広く親しまれている『肉汁うどん』に特化したプロモーションとして、長期間におけるＰＲ効果や店舗周遊増が期待できるスタンプラリーを実施します。本事業については、一般社団法人熊谷市観光協会が実施します。

【効果】
令和６年度のスタンプラリーは、熊谷市が県内うどんのリーディングシティであると認知を広めるため、埼玉県や埼玉県物産観光協会と連携して実施します。また、DXの取組としてクマぶらを活用し、紙媒体とデジタルタイプの併用も行います。令和７年度も更なるうどん文化のＰＲのため、参加うどん店舗数の拡大を目指し、ご当地グルメによる地域振興を図ります。

2 特徴やPRポイント

麦栽培の技術を確立した「麦王」こと「権田愛三」の出身地でもある熊谷市では、全国トップクラスの生産量を誇る麦を生かした「うどん文化」が古くから根付いています。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　**無**　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　斉藤
連絡先　℡048-524-1111　　内線　312

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
任意接種費用助成事業

1 事業概要

【目的】
任意予防接種の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、市民の健康を支援します。

【内容・経緯】
対象となる任意予防接種は次のとおりです。

①大人の風しん予防支援事業
妊娠を希望している女性とその同居者、又は妊婦の同居者を対象に、風しん（麻しん風しん混合を含む）予防接種費用の一部を助成します。（平成２６年度から実施）

②造血幹細胞移植後ワクチン再接種費用補助事業
造血幹細胞移植によって、定期の予防接種で獲得した免疫が低下若しくは消失したため、再接種が必要と医師が認めた者に対して再接種に係る費用を助成します。（令和４年度から実施）

③男子へのＨＰＶワクチン接種費用助成事業
小学６年生から高校１年生相当の男子を対象とし、４価ＨＰＶワクチン接種完了となる３回まで、市で定めた接種費用を上限に助成します。（令和５年９月から実施）

④帯状疱疹予防接種費用助成事業
重症化や重い後遺症を引き起こす恐れのある帯状疱疹の発症を抑制するため、ワクチン接種に係る費用の一部を助成します。（令和５年９月から実施）

【効果】
市民の健康保持増進に寄与するとともに経済的負担を軽減し、疾病及び感染症のまん延を防止します。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
・男子へのＨＰＶワクチン接種費用の助成は、埼玉県内では初めて実施しました。
・市は、中学１年生を対象として行っている「生命の授業」において、男女ともにＨＰＶワクチン接種をすることによるＨＰＶの感染予防及びがん予防について啓発を行っています。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者	市民部健康づくり課（事業④）	担当	田辺
	市民部母子健康センター（事業①～③）	担当	五十嵐
連絡先	健康づくり課	TEL	048-528-0601（直通）
	母子健康センター	TEL	048-525-2722（直通）

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
産後ケア事業

1 事業概要

【目的】
　産後ケアを提供することにより、母親の身体回復や心の安定を促すとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるように支援します。
【内容】
　産後ケア実施施設に宿泊または日帰りで、母親の心身のケアや育児のサポートを行います。
　令和７年度から利用者負担額を食事代相当額へと減額し、より利用しやすい環境を整えます。
　事業費11,050千円、国庫補助金1/2、県費補助金1/4

【効果】
　令和６年度の対象者拡大に併せて、利用者負担額の減額、利用施設の拡充を進めることにより、より多くの子育て家庭が利用できるように環境を整え、誰もが安心して子育てができるよう支援します。

2 特徴やPRポイント

伴走型相談支援や関係機関との連携を図ることにより、一人一人の状況を把握し、妊娠期から出産後に至る切れ目のない支援を実施する中で、産後ケア事業についても、安心して出産に望み、子育てができるよう妊娠中からサービスの説明や事前申請等支援を実施しています。利用者負担額を減額することにより、より多くの子育て家庭が利用できるようになります。

3 その他

利用者の声
・母乳育児について不安、不明なことを産後ケアで指導を受けたり相談して、退院後の不安を解消することができました。
・初めての育児でとても心配だったので助かりました。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部母子健康センター　　担当　黒澤
連絡先　TEL　048-525-2722

＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
がん患者ウェルビーイング支援事業

1 事業概要

【目的】
①アピアランスケア支援事業
がん治療に起因する外見（アピアランス）の変化によるがん患者の心理的負担や経済的負担の軽減を図ります。
②若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業
末期と診断された若年のがん患者及びその家族の心理的・経済的負担の軽減を図ります。

【内容】
①アピアランスケア支援事業
ウィッグ・補正具等（アピアランスケア用品）の購入について、その費用の一部の助成を予定しています。
②若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業
若年がん患者が利用する福祉サービス等（訪問介護、訪問入浴介護の利用及び福祉用具の貸与、福祉用具の購入）や意見書作成について、その費用の一部を助成します。

【効果】
①アピアランスケア支援事業
がん患者の生活の質の向上を図り、がん治療と社会生活を両立できるよう支援します。
②若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業
がん患者本人及びその家族の介護負担を軽減し、自宅において安心して療養生活を送れるよう支援します。

2 特徴やPRポイント

①アピアランスケア支援事業
がん患者は、治療に伴う外見変化により、自尊感情の喪失、社会における人間関係の変化に対して不安を感じています。
アピアランスケア用品の購入に係る費用の一部を助成することにより、外見の変化を補完し、がん患者の社会参加の促進、生活の質の向上を支援します。
②若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業
公的介護保険サービスや小児慢性特定疾病医療費助成制度の対象外とされている思春期・若年成人世代（ＡＹＡ世代）のうち１８歳以上４０歳未満の末期がん患者に対し、在宅療養に係る費用の一部を助成することにより、住み慣れた自宅で自分らしく安心して生活を送ることができるよう支援します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部健康づくり課　　担当　吉野 ・ 栗原
連絡先　℡048-528-0601　　内線　ー

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
消防施設維持管理等経費

1 事業概要

【目的】
女性消防職員が働きやすい環境を整備し、活躍する場を広げられるよう、妻沼消防署に女性用の仮眠室及びシャワー室の整備を行います。

【内容】
妻沼消防署２階会議室及び更衣室を改修し、仮眠室３室、シャワー室２室を整備します。

【効果】
女性職員の勤務公署が増加するとともに、女性職員を配置することで、子どもや高齢者、災害時の要支援者などへの安心感や信頼感が高まり、地域住民への対応力の向上が見込まれます。

2 特徴やPRポイント

現在、市内６消防署所のうち、女性用仮眠室等を有する施設が整備されているのは、熊谷消防署と中央消防署の２署となっています。
妻沼消防署に女性仮眠室等を整備し、女性職員の更なる活躍推進の取り組みを行っていきます。

3 その他

⑴　女性職員数及び比率
　　１２人、４．７６％（職員数２５２人）
⑵　配置状況
　　消防総務課１人【毎日勤務】、警防課１人【毎日勤務】
　　指令課２人【交替制勤務】、熊谷消防署４人【交替制勤務】
　　中央消防署４人【交替制勤務】

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　消防本部消防総務課　　担当　金子
連絡先　℡048-501-0119　　内線　494

＜速報＞
令和７年度当初予算（案）概要
令和７年２月１３日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
防災行政無線維持管理経費

１ 事業概要

【目的】
災害発生時等に緊急情報などを市民に一斉伝達する体制を常に確保しておくため、防災行政無線の施設を充実させるとともに、適切な維持管理を行います。

【内容】
①災害情報伝達手段の多重化・多様化を図るため、コミュニティＦＭ放送（ＦＭクマガヤ）と連携した防災ラジオを導入します。
②予防保全の観点から、老朽化した機器を重要度に応じて計画的に更新していきます。

【効果】
①防災行政無線の難聴地域対策の他、荒天時の補完、高齢者や障害のある方等への迅速かつ確実な緊急情報の伝達など、災害情報伝達手段が強化されると考えます。
②市民へ災害情報等を迅速かつ的確に一斉伝達する体制が維持できると考えます。

２ 特徴やPRポイント

①本市では、ＦＭ.クマガヤ株式会社と平成３１年２月に、防犯・防災情報の緊急放送に関する協定を締結しています。
防災ラジオとは、防災行政無線を受信した際に、待機状態や他局選局中であっても、コミュニティＦＭ放送（ＦＭクマガヤ）に自動で切り替わり、緊急割込放送を聞くことができるラジオです。
コミュニティＦＭ放送と連携した防災ラジオの導入は、県内で３例目になります（防災ラジオ等の県内導入状況は別紙のとおりです。）。

３ その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　市長公室危機管理課　　担当　小貝、大井
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　300

別　紙

防災ラジオ等の県内導入状況

⑴ コミュニティＦＭ放送の防災ラジオ
①川越市（R6～有償譲渡）、②越谷市（R4～有償譲渡）

⑵ 地域振興周波数の防災ラジオ
①加須市（無償貸与）

⑶ 280MHz 帯の防災ラジオや戸別受信機【ラジオ機能有り】
①秩父市（無償貸与）、②鴻巣市（有償貸与）、③戸田市（有償貸与）、
④川島町（有償貸与）、⑤小鹿野町（無償貸与）

⑷ 防災行政無線の戸別受信機【ラジオ機能無し】
①東松山市（無償貸与）、②白岡市（無償貸与）、③美里町（無償貸与）、
④神川町（無償貸与）

※ 熊谷市は⑴に該当し、

コミュニティＦＭ放送と連携した防災ラジオの導入は、
埼玉県で３例目（３番目）　になります。

＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
重度身体障害児者日常生活用具給付等事業

1 事業概要

【目的】
重度障害児者の日常生活をより円滑に支援し、自立した生活の実現を図るため、必要な日常生活用具を給付するものです。

【内容】
令和６年度から開始した発電機等の非常用電源装置の給付について、利用者のニーズを踏まえ、令和７年度も継続して実施します。日常生活用具として、特殊寝台、特殊マット、入浴補助用具などの基本的な用具も給付しています。
○給付対象品目：
・従来の日常生活用具（特殊寝台、特殊マット、入浴補助用具など）
・非常用電源装置
- 発電機・ポータブル電源/蓄電池（基準額：100,000円）
- DC/ACインバーター（基準額：50,000円）
○給付対象者：重度の身体障害者手帳所持者や難病患者等
○利用者負担：原則１割（世帯の所得に応じて負担上限額を設定）

【効果】
本事業の継続実施により、重度障害児者の日常生活における利便性向上と安全確保を図ることができます。特に非常用電源装置の給付継続により、人工呼吸器等使用者の災害時の停電においても医療機器を使用できる環境を整備しています。

2 特徴やPRポイント

令和６年度から開始した非常用電源装置の給付事業について、初年度の実施状況を踏まえ、必要性の高い支援として令和７年度も継続して実施します。
（令和６年度実績（1月末時点）：６件）
県内では、令和６年４月１日時点で、さいたま市など40市町村が非常用電源装置を日常生活用具の給付対象としています。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　福祉部障害福祉課　　担当　矢津田
連絡先　TEL 048-524-1451(直通)　　内線　531

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
老人福祉センター江南荘耐震補強事業

1 事業概要

【目的】
高齢者の安心・安全な施設利用のため、耐震補強工事を実施します。

【経緯】
令和３年度、耐震診断調査を実施。令和５年度、耐震補強工事設計を実施。

【内容】
シルバークール屋根を撤去して鉄板屋根に葺き替え、建物間のジョイント部分の改修、耐震スリットの新設、煙突上部の撤去、浴室棟のトイレのコンクリートブロック頂部補強等。

【効果】
新耐震基準施行前に建設された江南荘の耐震性を確保することにより、災害時における施設の機能停止や倒壊等を防ぎ、高齢者の安心・安全な施設利用が図られます。

2 特徴やPRポイント

屋根を撤去することにより、廊下やステージの床（カーペット）等を新設することから、工事終了後はリニューアルされた施設を利用してもらうことができます。

3 その他

・江南荘休館期間　令和７年６月１日～令和８年３月３１日
※工期により、終期は前後する可能性があり、その際には各老人福祉センター及びホームページ等で周知予定です。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　福祉部長寿いきがい課　　担当　榎本　香織
連絡先　TEL　048-524-1398（直通）　　内線　290

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
養育費確保支援事業

1 事業概要

【目的】
　離婚後の養育費について取り決め率、履行率が低調となっている状況に対して、養育費の取り決めに係る公正証書等の作成や養育費保証契約の締結に必要となる費用を補助することで、養育費支払いの正常化を図ります。

【内容】
・公正証書等の作成に係る経費補助
　養育費の取り決めにおいて必要となる経費のうち、公証人手数料、家庭裁判所の調定申立て又は裁判に要する収入印紙代、戸籍謄本等添付書類取得費用等について上限4万3千円として補助します。
・養育費保証契約締結に係る経費補助
　保証会社と養育費保証契約を締結するために必要となる経費のうち、初回保証料について上限5万円として補助します。

【効果】
・公的補助を行うことにより養育費の取り決め率、履行率が向上します。

2 特徴やPRポイント

・民法改正による「法定養育費」の適用に先がけた支援を実施します。
・養育費の確保によるひとり親家庭の経済的安定と福祉向上を図ります。

3 その他

・国庫補助：母子家庭等対策総合支援事業費補助金（補助率１／２）。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　福祉部こども課　　担当　椛澤・茂木
連絡先　℡048-524-1111　　内線　292

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
妊婦等支援事業

1 事業概要

【目的】
妊娠期からの切れ目ない支援を行う観点から、「妊婦のための支援給付」及び「妊婦等包括相談支援」を組み合わせて実施することにより、妊婦等の身体的、精神的ケア及び経済的支援を実施します。併せて低所得妊婦の経済的負担軽減を図り、必要な支援につなげる「低所得妊婦の初回産科受診料支援」を実施します。

【内容】
面談（妊娠届出時・妊娠８か月頃・赤ちゃん訪問時）や随時の相談を行うことにより、必要な支援につなげます。
また、経済的な負担軽減を図るため妊婦に対し５万円を支給、妊娠しているこどもの人数に応じて５万円を支給します。
低所得の妊婦に対して、妊娠判定を受けるための初回受診に要する費用について、１回当たり１万円を上限として助成します。

【効果】
経済的支援と妊婦等包括相談支援を一体的に実施することで、相談支援の実施を確実なものとし、継続的な情報発信や定期的な相談対応をおこなうとともに、必要な場合に、より専門的、個別的な支援につなげていくことで、より安心して出産・子育てが出来る環境を整えます。未受診妊婦の解消及び母体や胎児の健康増進を図ります。

2 特徴やPRポイント

妊婦等包括相談支援と低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援を一体的に実施することにより、両事業の効果的な取り組みが進むこととなります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市民部母子健康センター　　担当　黒澤
連絡先　TEL　048-525－2722　　内線

＜速報＞
令和6年度3月補正予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
学校給食費負担軽減支援事業

1 事業概要

（目的）
　食材費の高騰が続く中、子供たちに適正な栄養を提供するのに必要な食材費を確保するため、令和５年度及び令和６年度に２年連続で給食費を改定しました。しかし、子育て世帯の経済的負担が増すことからこれを軽減するため実施します。

（内容）
　令和６年度に１５％程度の値上げ改定を行いましたが、その値上げ分を公費で負担し、保護者負担額を据え置くものです。
　国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用するため、令和６年度３月補正予算に計上し、令和７年度に繰り越して実施します。

（効果）
　子育て世帯の経済的負担を軽減しながらも、適正な食材費を確保することで子供たちに理想的な学校給食を提供します。

2 特徴やPRポイント

　適正な食材費を確保することで、地場産食材をより多く使用し地元の生産者等の支援にも繋がります。

3 その他

※ 資料の有無（　無　）

担当者　教育委員会教育総務課　　担当　高橋
連絡先　℡048-524-1122　　内線　547

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
駅前広場冷却ミスト事業

1 事業概要

【目的】
熊谷駅東口の冷却ミストの機器を更新します。

【内容】
暑いまちをクールダウンする取組の一つとして、夏の風物詩にもなっている熊谷駅及び籠原駅前広場の冷却ミストのうち、老朽化した熊谷駅東口の機器を更新します。

【影響】
冷却ミストは、毎年暑い時期になるとニュース番組等で取り上げられ、暑いまちをクールダウンする取組の一つとして夏の風物詩にもなっています。しかし、機器の老朽化により稼働中の故障も起きています。機器を更新することで、熊谷の暑さ対策のアピールと、利用客への涼しさを切れ目なく行うことができます。

【効果】
熊谷の暑さ対策のアピールと、利用客への涼しさの提供を切れ目なく行うことができるようになります。

2 特徴やPRポイント

熊谷駅は、毎日多くの利用客があります。また、近年頻発する猛暑により、暑いまち、暑さ対策のまちとして有名な熊谷への注目度はますます高くなると考えられます。
冷却ミスト装置を安定的に稼働させることは、熊谷の暑さ対策のアピールと、利用客への涼しさの提供につながります。

3 その他

冷却ミストは平成２０年、熊谷駅正面口駅前広場、東口、南口に設置。
令和元年に正面口駅前広場のミストを改修し、正面口県道側に追加で設置しました。
稼働条件　気温２８℃以上、湿度７５％未満、風速３ｍ未満、降雨なし。
運転期間　5/1～10/31

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　清水
連絡先　TEL 048-536-1547　　内線　209

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
電気自動車等充電設備普及事業

1 事業概要

【目的】
電気自動車（ＥＶ）やプラグインハイブリッド車（ＰＨＶ）充電設備の設置を促進し、ＥＶやＰＨＶの更なる普及を目指します。

【内容】
次世代自動車振興センターの補助金（以下、ＮｅＶ補助金）を受けて設置した充電設備を補助対象とします。
補助金額は、補助対象経費からＮｅＶ補助金を控除した金額の２分の１とし、上限は３０万円です。

【影響】
ＮｅＶ補助金に上乗せし補助金を交付することで、設置者の費用負担を軽減します。

【効果】
温室効果ガスの排出削減につながります。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
「給油所（経路充電）」、「商業施設及び宿泊施設等への充電設備設置事業（目的地充電）」及び、「マンション、月極駐車場及び事務所・工場等への充電設備設置事業（基礎充電）」を補助対象としています。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　中島
連絡先　℡　048-536-1547　　内線　206

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
省エネ家電普及促進事業

1 事業概要

【目的】
市民に対して省エネ機器の導入を促すことで本市の脱炭素化を促進するため、対象機器の導入について支援します。

【内容】
熊谷市内の店舗で省エネ性能の多段階評価点が☆3.0以上の省エネ家電（エアコン、冷蔵庫、冷凍庫）を購入した方に、地域電子マネー「クマPAY」で１万円の補助金を支給します。

【効果】
機器の購入を市内店舗・事業者に限ることで、熊谷市の地域経済の活性化に繋げます。また、省エネ機器の導入を促すことで本市の脱炭素化を促進します。

2 特徴やPRポイント

【省エネエアコン】
約20年前のエアコン（7～10畳用）を省エネエアコン（統一省エネルギーラベル☆3.0、7～10畳用）へ入れ替えた場合、年間消費電力量197kWh削減、年間電気代6,100円削減（31円/kWhで試算）、年間CO2排出量85kg削減が期待でき、これは1年間にスギの木が吸収するCO2量に換算すると9.6本分になります。

【省エネ冷蔵庫】
約20年前の冷蔵庫（451～500リットル）を省エネエアコン（統一省エネルギーラベル☆3.6、451～500リットル）へ入れ替えた場合、年間消費電力量423kWh削減、年間電気代13,110円削減（31円/kWhで試算）、年間CO2排出量182kg削減が期待でき、これは1年間にスギの木が吸収するCO2量に換算すると20.6本分になります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　清水
連絡先　TEL 048-536-1547　　内線　209

＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
暑さ対策スマートパッケージ事業

1 事業概要

【目的】
「暑さ対策スマートパッケージ」は「暑さ対策」に「デジタル技術」をかけ合わせ、暑さの中でも快適に過ごせる機能をパッケージ化したサービスです。
市民や来訪者が夏の暑さの中でも快適に過ごせるよう、暑い場所の回避や涼しい場所への誘導を目的としたコンテンツを、熊谷市公式LINE「クマぶら」で発信します。

【内容】
・まちなか（注１）の温熱環境をシミュレートし、可視化した画像（注２）を表示します。まちなかの相対的な暑さの分布予測（注３）を確認できます。
・クールシェア期間（6/1-9/30）に市内に設置される、暑さをしのぐための休憩スポット「クールシェアスポット」を地図上で確認できる「クールシェアスポットマップ」を表示します。マップ中の道路には温熱環境シミュレーション画像が重なって表示されるので、経路上の相対的な暑い場所を確認することができます。
・温熱環境シミュレーション範囲内にある一部のクールシェアスポットでは、スポット内に設置されているQRコードをクマぶらから読み取ることで、コミュニティポイント「クマポ」を獲得できます。クマポを獲得できるクールシェアスポットは、マップ中のアイコンの枠が着色（緑、黄、赤色）されています。
・アイコンの枠色は、スポットが位置する場所の相対的な暑さに応じて決定（緑、黄、赤の順でシミュレーション上“相対的”に涼しい）します。アイコンの枠色が黄、赤色のスポットでは、通常配布するクマポに加え、ボーナスクマポを配布します。
・クマぶら利用時に、コミュニティポイント“クマポ”が獲得できるクールシェアスポットを現在位置から近い順に表示することができます。

【効果】
・市民、来訪者が相対的な暑い場所、涼しい場所を確認し、クールシェアスポットを利用していただくことで、暑さの対策をしながら、まちなかを回遊することができます。
・クマぶらの利用促進

2 特徴やPRポイント

・まちの”相対的な”暑さ状況を知ることで、まちなかの目的地までより涼しい道を選んだり、クールシェアスポットで休憩しながら、暑さの中でも快適に過ごせます。
・熊谷市公式LINE「クマぶら」で発信することで、より広い範囲に周知を行うことが可能となります。
・令和６年度では隔週実施であったボーナスクマポの配布を、令和７年度では毎日実施します。

3 その他

注１　まちなかとは、熊谷駅周辺の約２km四方の範囲のことを指しています。
注２　シミュレーション画像は、熊谷市の３Ｄ都市モデルや過去の気象データ、まちなかに設置している気象観測機器の測定値などを参考にシミュレーションソフトで計算されたＷＢＧＴの推測値を高低により色分けしたものです。
注３　相対的な分布であるため、青色や緑色のエリアであっても、必ずしも涼しいわけではありません。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　村上
連絡先　℡　048-536-1547　　内線　206

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
アライグマ・ハクビシン防除事業

1 事業概要

【目的】
　アライグマ及びハクビシンの生息域拡大による家屋への侵入被害を防止し、市民の健康及び安全確保を目的としています。

【内容】
　アライグマ又はハクビシンの被害を受け、自らが行うことのできない困難なものについて外注による防除施工を行った方に対し、掛かった費用の２分の１（上限額５万円）を補助します。

【影響】
　防除費用に係る経済的な負担を軽減することができます。

2 特徴やPRポイント

　熊谷市では市民からの相談に応じて、箱わなの設置による捕獲駆除を行っていますが、家屋侵入による騒音や糞尿被害ついては、現状では害獣駆除業者をとりまとめているペストコントロール協会を紹介するに留まっています。
　防除方法の一つとして、アライグマが安心して休息したり、繁殖したりする場所を無くすことが挙げられますが、防除費用は高額である場合が多いことから、補助金の交付により経済的な負担を軽減し、健康的な生活への一助とします。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　環境部環境政策課　　担当　柳澤
連絡先　TEL 048-536-1547　　内線　203

＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
農産物ブランド化推進事業

1 事業概要

【目的】
ブランド事業は「晴れまち事業構想」に基づき、市産品のブランド認証制度を整えるなどしながら、新たな地域ブランド「晴れまち」の確立を目指します。地域ブランドの確立は、市産品の価値向上や、地産地消の推進、産業全体の活性化などを目的としています。
【内容】
熊谷ブランド「晴れまち」は、熊谷市の魅力が詰まった市産品を、公募によって認定する制度です。ブランドコンセプトは「農商工発展都市のその先へ」とし、申請のあった市産品を「晴れまちFARM」「晴れまちGIFT」「晴れまちPRODUCT」の３つのカテゴリーで認定します。そのほか、以下のとおりブランド事業を多面的に展開することで、地域ブランドとしての確立を戦略的に実施します。
①付加価値の創造
　収穫体験、料理教室などの既存事業への関連付けのほか、事業者や生産者のニーズ調査を行います。将来的には、新たな魅力を創出するためのマッチング事業や、カテゴリーごとの上位品目を決めるAWARDの開催を目指します。
②ブランドプロモーションの展開
　市報や専用サイトにおいてブランドに特化した情報発信を行うほか、全国特産品の展示イベント等の活用や、ふるさと納税返礼品との関連性を高めるなどしながら、消費者にＰＲを行います。
③公民連携によるブランド事業の推進
　関係機関と地域ブランドの推進を目的とした連携協定を締結し、公民連携によるブランド事業の推進体制を整えます。
【期待される効果】
市産品の価値向上／新たな魅力創造／産業全体の活性化／地産地消／生産者・事業者間の循環創出
【経緯】
ブランド事業は令和３年度から開始し、熊谷市と農産物ブランド化推進協議会で検討を重ねてきました。
・令和４年１月　　農産物のブランド化に特化した「熊谷市農産物ブランド化戦略」を策定
・令和４年２月　　新たなブランド品を育成・支援するため「ファームラボ事業」を開始
・令和６年１０月　農商工の発展を目指した「熊谷ブランド　晴れまち事業構想」を策定
次年度からは、農業だけでなく商業や工業も含めたブランド事業を展開します。

2 特徴やPRポイント

・ブランド名の「晴れまち」は晴れの日が多い熊谷市の特徴を表しています。
・令和７年３月には「晴れまちFARM」の専用サイトがオープンします。
・市内事業者・生産者のニーズ調査と分析によって、新たな魅力創造を目指します。

3 その他

農産物ブランド化推進協議会は、令和７年度以降熊谷ブランド推進協議会に名称変更し、協議会メンバーの再編成を行う予定です。

※ 資料の有無（ (有) ・ 無 ）

担当者　産業振興部農業政策課　　担当　橋本・夏目
連絡先　℡ 048－588－9987（直通）　　内線　－

「農・商・工」発展都市のその先へ
公民連携で創る地域ブランド

KUMAGAYA BRAND 晴れまち ／ こころ、晴れる、モノ語り

2025.1　ver.1-2　産業振興部農業政策課

「晴れまち」とは

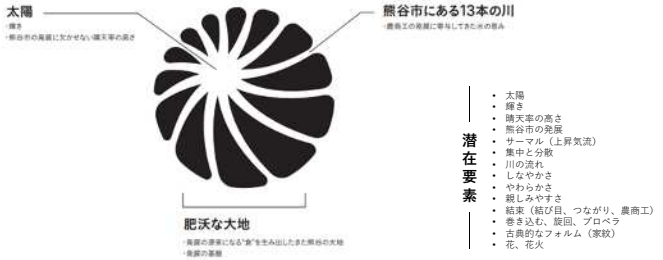
「農・商・工」発展都市のその先へ

　農業・商業・工業がバランスよく発展してきた熊谷市には、伝統的なものや洗練されたもの、地域の魅力を伝えるもの、人々の暮らしになくてはならないものなど、世界に誇るモノが数多くあります。
　それらを「熊谷ブランド」として束ねながら、一つひとつのモノにまつわる「物語」と一緒に伝えていくことで、熊谷の魅力を国内外に発信していく新しいプロモーション活動としての取組です。
　ブランド名「晴れまち」は、晴れの日が多い熊谷市のアイデンティティを表現しています。また、ブランドのシンボルマークは輝く太陽をモチーフにしながら、ブランドとなる「モノ」の輝きを表しています。
　このマークをブランド事業のシンボルとして統一的に使用しながら、市産品の価値を高め産業全体を活性化していくことを目指します。

こころ、晴れる、モノ語り
晴れまち
KUMAGAYA BRAND

シンボルマーク

さまざまな要素を潜在させることで、
グローバルブランドとして共感を得やすいシンボルマークに。



潜在要素
- 太陽
- 輝き
- 晴天率の高さ
- 熊谷市の発展
- サーマル（上昇気流）
- 集中と分散
- 川の流れ
- しなやかさ
- やわらかさ
- 親しみやすさ
- 結束（結び目、つながり、農商工）
- 巻き込む、旋回、プロペラ
- 古典的なフォルム（家紋）
- 花、花火

事業概要

ブランド事業　3つのカテゴリー



晴れまち
FARM
豊かな土壌を持つ熊谷での生産された、穀物、野菜、果樹、畜産、酪農など

市内生産者が作る穀物、野菜、果樹、畜産物のうち、熊谷市の自然の恵みを受けて育った産品を『晴れまちFARM』として認定し、市がお勧めする食べ物として発信します。

晴れまち
GIFT
市が認定するお勧めのお土産品。

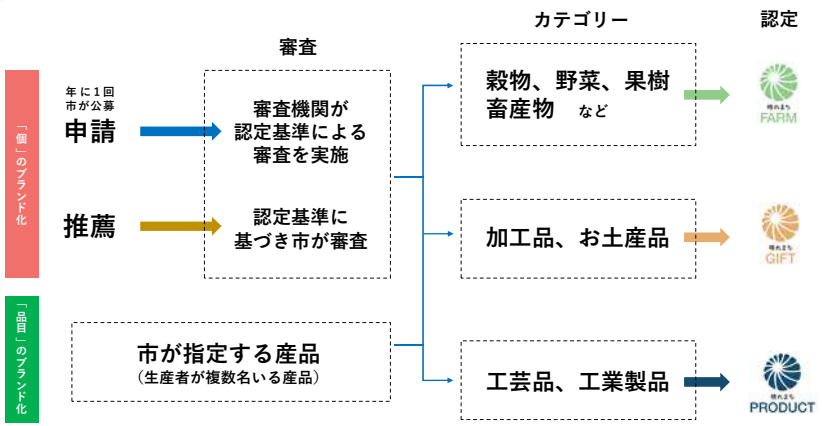
市内民間事業者が作るお土産品のうち、熊谷市のアイデンティティが詰まった商品を『晴れまちGIFT』として認定し、市がお勧めするお土産品として発信します。

晴れまち
PRODUCT
技術力の高さを伝えるブランド。ものづくりのチカラを世界へ。

市内民間事業者がつくる工芸品や製品などを『晴れまちPRODUCT』として市が認定し、技術力の高さや価値を伝えます。

5

ブランド認定のプロセス



6

付加価値の創造



既存事業の関連付けによる効率的な付加価値創造

体験
収穫体験、料理教室、フィールドワークなど、作り手が活動する現場を感じる体験を。

マッチング
事業者や生産者のニーズを聞き、共創が生まれるためのマッチング事業の実施。

AWARD
カテゴリーごとの上位品目を決めるAWARDの開催。高品質なブランド品の可視化。

研修
熊谷市の特産品を守るため、新規参入増加策や生産方法のノウハウを伝える研修会の実施。

→ **付加価値の創造**

7

ブランドプロモーション



付加価値創造

体験
マッチング
AWARD
研修

ブランドプロモーション

専用サイト
専用サイトでブランドに特化した情報発信を行う。

市向けプロモーション
市報など既存媒体での発信のほか、マッチングによる取組を強化し、ニーズ把握の調査や、事業者（飲食店）向けに商談フェアなどを開催する。

市外向けプロモーション
イベントでのブース出展等を活用するほか、ふるさと納税返礼品との関連性を高め、より消費者が手に取りやすい仕組みを作る。

8

＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
元気な農業支援事業

1 事業概要

【目的】
農業者の経営安定・発展を支援し、市内農業者数の維持、確保とともに、農産物の安定供給を図ります。

【内容】
農業者の農業機械導入に係る経費の一部を補助します。
認定農業者は3/10以内、認定新規就農者は5/10以内、いずれも限度額２０万円。
認定農業者以外の農産物販売額年額５０万円以上の農業者は3/10以内、限度額１０万円。

【効果】
農業者の作業効率化・軽減化、農業者の維持、農地の保全等が期待されます。

【事業費】１０，０００千円

【補助条件等】
・購入する農業機械について国、県及び市の補助を受けていないこと
・市税に滞納がないこと
・令和７年度に購入する農業機械であること
・農業以外への使途が可能なトラック、バックフォー、フォークリフト等は対象外
・事業化３年目。事業期間は令和５年度～令和７年度の３年間を予定

2 特徴やPRポイント

【特徴】
認定農業者、認定新規就農者、それ以外の小規模農業者へも支援を行い、広く農業者を支援します。

【ＰＲポイント】
この事業は、令和５年度・令和６年度に引き続き実施する市単独補助事業です。
生産費の高騰等厳しい環境にある農業者を応援し、農業の振興を図ります。

3 その他

申請書類、受付期間等は、市ホームページやくまがや農委だより等でお知らせする予定です。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部農業政策課　　担当　田口
連絡先　048-588-9987(直通)　　内線

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
産業DX推進事業

1 事業概要

【目的】
　スマートシティの実現、ＤＸ推進による市内産業界の稼ぐ力の向上を目指します。
【内容】
　「産業ＤＸプロジェクト」を募集し、ふるさと納税型クラウドファンディングで募った寄附金をもとにプロジェクトを支援するものです。
【経緯】
　公民連携による熊谷市の魅力向上や産業振興についての民間事業者を交えた対話の中から創り出された事業です。
【経過】
　令和５年度採択　１件
　令和６年度採択　審査中
【効果】
　市内で産業ＤＸ推進に取り組むプロジェクトを生み出し、公民連携による産業ＤＸ推進を加速化します。

2 特徴やPRポイント

　「産業ＤＸプロジェクト」は、市内事業者のＤＸを応援する取組や、自社のＤＸを進める取組で、ＤＸで産業の活性化を目指すものです。
　ふるさと納税型クラウドファンディングを活用することで、寄附を活用して実施される魅力的な事業を創造し、地域産業、それに関わる多くの方に変化をもたらすことができます。
　また、寄附者にとっては、地域貢献につながる取組を応援できることに加え、ふるさと納税による税金控除を受けられるメリットがあります。
　産業界のＤＸ推進にフォーカスしたふるさと納税型クラウドファンディングは極めて珍しいと思われます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部企業活動支援課　　担当　曽根
連絡先　℡048-524-1470（直通）　　内線　594

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷発スタートアップ支援事業

1 事業概要

【目的】
　デジタル先端技術等を活用した起業や新事業にチャレンジするスタートアップ等を支援することで、市内産業の活性化とスマート化を目指します。

【内容】
　市内産業の活性化と熊谷スマートシティの推進のため、デジタル先端技術等を活用した起業や新事業にチャレンジするスタートアップ等を募集し、採択事業に対し、３年度間で総額１０，０００千円までの「熊谷発スタートアップ支援補助金」を交付します。

【経緯】
　熊谷スマートシティの取組のなかで、デジタルを活用した共創により新時代の産業確保・社会課題解決を目指し、スタートアップ支援の制度を設けることとしました。

【効果】
　デジタル先端技術に公民が連携して取り組むことで、デジタル先端技術に関心のある企業や起業家・研究者等を本市に呼び込み、新産業の創出を誘引します。

2 特徴やPRポイント

熊谷スマートシティを舞台としてチャレンジするスタートアップ等を、継続的に強力にサポートします。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部企業活動支援課　　担当　曽根
連絡先　℡　048-524-1470（直通）　　内線　594

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
池上地区「道の駅」整備事業

1 事業概要

【目的】
（仮称）道の駅「くまがや」を整備し、道の駅としての機能に加えて、熊谷流の農業・食文化を「育てる」、「発信する」ことを通じ、産業、観光、市民活動を活性化し、住民や来訪者を「元気にする」地域活性化拠点を実現します。
【内容】
池上地内の国道１７号熊谷バイパスと国道１２５号の交差部に、“食”を通じたおもてなしにより来場者へ熊谷の魅力を伝えるとともに、未来の地域・社会の担い手である“子ども”を掛け合わせることにより「食×子ども」を設計コンセプトとした道の駅を整備します。
令和７年度は、建築工事並びに水道及び下水道工事に関する費用等を計上します。
【効果】
農業振興、情報発信、地域交流の拠点として地域の課題解決に寄与するとともに、本市の魅力を全国にＰＲし、地域振興を図ります。

2 特徴やPRポイント

・季節や天候に左右されることなく安心して子どもを遊ばせることができる、大型遊具を備えた屋内遊び場や新鮮な地元野菜や物産品などを購入できる農水産物直売所、フードコートを整備します。
・熊谷の食材を使用した新たな物産品の製造や販売を行います。
・熊谷市初のＰＦＩ事業により設計から運営までを一括して行うことことで、民間のノウハウを十分に活用することができ、コストの縮減、質の高い経営などが可能となります。

3 その他

令和４年度は、ＰＦＩ事業を実施するにあたり、事業者公募に係る要求水準書を作成・公表したほか、埋蔵文化財の発掘調査、外周道路工事を実施しました。
令和５年度は、ＰＦＩ事業者の選定、盛土造成工事等を実施しました。
令和６年度は、盛土造成工事、設計等のモニタリングを実施しているほか、ほ場整備事業により創出される非農用地を事業用地として取得します。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　産業振興部東部地域開発推進室　　担当　村松
連絡先　℡048-580-4622（直通）　　内線　532

建物概要・外観





※今後の協議によりデザインや配置等に変更が生じる場合があります。

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）樋春地区産業団地整備計画検討・調査事業

1 事業概要

【目的】
企業誘致及び市内企業の事業拡大の促進を目的として、企業の立地先となる産業団地整備計画を検討するための調査業務等を行います。

【経緯】
令和４年度　熊谷市から埼玉県企業局へ調査依頼
　　埼玉県企業局による予備調査実施
令和５年度　埼玉県企業局による候補地選定調査実施（～令和６年度）
令和６年度　埼玉県企業局との諸調整及び関係機関との協議

【内容】
令和７年度は、産業団地整備の実施に当たり必要となる水源井の移転に向けた調査業務と、埼玉県担当部局との事前協議である農林協議及び都市計画協議の資料作成業務委託を行います。

【効果】
産業団地整備が実現できた場合には、次の効果を見込んでいます。
・新たな企業の誘致により地域経済の更なる発展につながります。
・雇用機会の維持と創出につながり、本市への転入者の増加が見込まれます。
・固定資産税等の税収増加が見込まれ、安定した財政運営が可能となります。

2 特徴やPRポイント

事業予定地は吉岡工業団地に隣接する樋春地内であり、整備面積は約１８．７ｈａを予定しています。埼玉県企業局との共同事業を予定しており、緊密に連携を取りながら産業団地整備計画の検討を進めてまいります。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　産業振興部企業活動支援課　　担当　新井・増田
連絡先　℡048-524-1111　　内線　594

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
まちなかウォーカブル推進事業

1 事業概要

【目的】
居心地がよく、訪れたくなるまちづくりを推進するため、公民が連携し賑わいのある歩行者空間の創出を目指します。

【内容】
・筑波内市有施設をまちなかハブとしてオープン
・星川沿いグリーンスローモビリティ走行実証実験
・星溪園の魅力を見直すことができる社会実験
・星川親水広場をさらに居心地の良い場所へと整備
・民意醸成のための熊谷版Decidim「ツノルバ」の運営

【効果】
公民連携によりまちなかに訪れたくなる施策に取り組むことによって、まちづくりの関係人口が増加し、まちなかの魅力向上が図られ、賑わいの再生につながることが見込まれます。

2 特徴やPRポイント

令和５年、地元有志の方々に御協力いただきながら、学生や民間企業、周辺住人を含めた星川に関わりのある各種団体に所属する７５０名の方に対しアンケートやワークショップを行い、星川の価値・課題を整理し、まとめた「星川将来ビジョン」に基づく、様々なアプローチがいよいよ始まります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　**無**　）

担当者　産業振興部商業観光課　　担当　森田・塚越
連絡先　℡048-524-1111　　内線　508

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
踏切交通安全対策事業

1 事業概要

【目的】
踏切の安全対策等により、踏切接触事故の未然防止を図ります。

【内容】
警報機、遮断機の無い第４種踏切のうち、地元の同意が得られたものについて、廃止等を行います。また、廃止に伴う迂回路の整備など、踏切に関連する安全対策を行います。
踏切廃止に伴う仮閉鎖工、本閉鎖（ガードレール設置工）、迂回路舗装工事等

【経緯】
令和６年４月に高崎市内の第４種踏切で発生した小学生が亡くなった事故を受け、令和６年度当初に９か所あった同種の踏切について廃止が可能か、地元関係者と協議を進めています。

【効果】
危険性が指摘されている第４種踏切を廃止することで、接触事故を未然に防ぎます。

2 特徴やPRポイント

令和６年度に第４種踏切３か所を廃止しました。令和６年４月以降、秩父鉄道で廃止した第４種踏切５か所のうち３か所が熊谷市にある踏切です。
残る６か所についても、関係者と協議を進めます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　建設部道路課　　担当　茂木
連絡先　℡　048-524-1482　　内線　457

＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
市道121号線道路改良事業

1 事業概要

【目的】
歩道整備により、歩行者の安全性向上を図ります。

【内容】
令和7年度は、現況の測量を行います。
起点：国道１７号自衛隊入口交差点　終点：県道原郷熊谷線新堀（北）交差点　街路築造工　延長230m　幅員16.0m（うち東側8.0mは土地区画整理事業で整備済み）歩道幅員3.5m

【経緯】
この路線のうち東側は、籠原中央第一土地区画整理事業による街路築造が完了しています。引き続き西側の街路築造工事を進めます。

【効果】
児童生徒等の通行者の安全な歩行空間を確保します。

2 特徴やPRポイント

交差する国道１７号、県道新堀尾島線、県道美土里町新堀線と歩道が繋がることで、より安全な歩行者動線を形成します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　建設部道路課　　担当　茂木
連絡先　TEL 048-524-1482　　内線　457

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
景観誘導地区景観まちづくり事業

1 事業概要

【目的】
平成２１年に策定した熊谷市景観計画で、先導的に景観形成に取組む地区として位置付けている「熊谷中心市街地にぎわい景観誘導地区」において、市民が愛着と誇りを持てる景観の継承と創造に資するまちづくりを目指します。

【内容】
熊谷駅周辺を含む、商業・業務地である中心市街地エリアにおいて、景観形成に係る基本方針やデザイン指針を検討するほか、市民ワークショップを実施した上で、当該エリアの「景観まちづくりプラン」を策定します。

【影響・効果】
中心市街地で初めて景観まちづくりプランを策定することによって、良好な景観の形成や保全を図るとともに、住民、商業者等が協力してまちづくりを進めていくための機運醸成が期待されます。
また、引き続き県立熊谷工業高校等との協働による取組を行うことで、にぎわいの創出や地域コミュニティの充実、活性化、担い手の育成が期待されます。

2 特徴やPRポイント

平成２５年度に景観まちづくりプランを策定している「妻沼聖天山歴史景観誘導地区」では、既にボランティア団体や熊谷工業高校建築科との協働の取組が行われ、聖天山境内の苔庭整備やベンチの製作等、景観形成の活動が定着しています。
今後は中心市街地では、新たな景観まちづくりプランに基づく既存の景観資源の活用や、新たな景観資源の創出により、景観形成に資する取組を検討します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　都市整備部都市計画課　　担当　小谷・飯塚
連絡先　℡0493-39-4814（直通）

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷駅南口周辺再整備促進事業

1 事業概要

【目的】
熊谷駅南口周辺の民間主体によるまちづくりの事業化を促進するため、「まちづくりビジョン」の策定を行うとともに、南口周辺の交通基盤に関する検討を行い、再整備の具体化に向けて市民や事業者等の機運醸成を図ります。

【内容】
熊谷駅南口周辺における今後のまちづくりの方針や取組等を検討するため、市民ワークショップを開催し、まちづくりビジョンの策定を行います。
また、再整備に向けた課題を整理するため、南口駅前広場及び周辺道路に関する交通基盤の検討を行います。

【影響・効果】
熊谷駅南口周辺の土地の利用転換による再整備に向けた機運醸成が図られ、民間開発の促進や他のプロジェクトと連動したにぎわいの創出、居住人口や税収の増加等、エリア価値の向上が期待できます。

2 特徴やPRポイント

県北最大の交通結節点かつ市民活動・経済活動の拠点である熊谷駅前の活性化に向けて、熊谷駅南口周辺まちづくりビジョンを策定し、エリアの高いポテンシャルを活かした民間開発や、公共空間等の整備による高度利用の実現に向けて都市機能の誘導を促進します。
また、将来的に賑わいのある駅前空間の創出に繋げるため、一体的なまちづくりを促進します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　都市整備部都市計画課　　担当　小谷・荒川
連絡先　℡0493-39-4813（直通）

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷運動公園子供広場整備事業

1 事業概要

【目的】
夏場に子どもたちが水で遊べる施設や、スケートボードができる環境整備を求める声に応えるため、子供広場の活用を進め、賑わいの創出を図ります。

【内容】
子供広場に整備を進めている水辺施設周辺の舗装工事等を行います。
スケートボードパークのセクションを増設します。

【影響】
家族で利用できる施設が増えることで、幅広い層の方が利用しやすい環境となり、賑わいが生まれます。

【効果】
これまで熊谷運動公園を利用していなかった方や近隣市町からの利用増加が見込まれます。

2 特徴やPRポイント

噴水のあるじゃぶじゃぶ池などの水遊び場や、市内で２か所目となるスケートボードができる場を整備することで、親子で楽しめ、屋外で身体を動かす新たな機会を創出します。

3 その他

令和７年度、夏季からの利用開始を予定しています。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　都市整備部公園緑地課　　担当　杉浦
連絡先　℡ 0493-39-4806　　内線

＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
生活道路及び排水路の整備の推進

1 事業概要

【目的】
地域の利便性及び通行の安全性に配慮した生活道路の整備と、道路の維持管理を行い生活環境の改善を図るとともに、排水路整備では浸水被害が頻発している地域において浸水被害軽減対策を行います。

【内容】
・道路整備事業
陳情・要望による、地域の狭あいな生活道路の拡幅改良、側溝整備及び舗装新設等を「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」に基づき、必要性・緊急性を評価し実施します。
・道路維持経費
幹線道路や生活道路の老朽化した舗装補修と街路樹等の管理を行います。
・排水路等維持管理経費
排水路環境改善のための整備や除草等の管理を行います。

【効果】
生活道路の利便性の向上、道路の適切な維持管理により良好な生活環境を創出します。また、排水路整備等により適正な流れを確保し、水路環境の改善を図ります。

2 特徴やPRポイント

・道路整備事業
「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」（道路事業評価システム）により、公平性を確保し、効果的に事業を進めています。
・道路維持経費
積極的に補修や整備を行うことにより、地域の利便性の向上や安全の確保が図られます。
・排水路等維持管理経費
除草作業の軽減を図るため、防草コンクリート施工による恒久的な対策を講じます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　建設部　道路課　担当 中澤
建設部　維持課　担当 金子
建設部　河川課　担当 水野
連絡先　（道路課）TEL 048-524-1111　内線 352
（維持課）TEL 048-524-1111　内線 540
（河川課）TEL 048-524-1111　内線 355

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
新くまなびスクール事業

1 事業概要

【目的】
不登校児童生徒等への支援や、児童生徒一人一人の個に応じた学習支援により、さらなる学力向上を図ります。

【内容】
教室に入ることができない児童生徒や不登校傾向の児童生徒の学習を支援するため、新たに令和７年度から、市内全小中学校に校内教育支援センター「新くまなびスクール」を設置し、支援員による学習支援を行います。
また、全ての児童生徒を対象とした学習支援として、各学校に支援員を配置し、教室での授業の補助や個別支援、また放課後等の学習支援を行います。

【効果】
⑴ 児童生徒一人一人の個に応じた指導や放課後の学習支援により、学力向上につなげることができます。
⑵ 不登校傾向の児童生徒や、なかなか自分の学級にいられない児童生徒に対して支援を行い、学びの場を確保し、教室復帰につなげることができます。

2 特徴やPRポイント

○多種多様な子どもたちのニーズに応えられるきめ細やかな指導により、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図ることができます。

○放課後等の学習支援に取り組むことで、現在の学力水準を維持し、さらには向上させることにもつながります。

○不登校傾向の児童生徒や、なかなか自分の学級にいられない児童生徒に対して支援を行い、学びの場を確保するとともに、教室復帰につなげていきます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会学校教育課　　担当　新里、新井、松浦
連絡先　℡　048－524－1111　　内線　315、 386

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「踊る埴輪」知名度アップ事業

1 事業概要

【目的】
全国の埴輪の中で最も有名な埴輪「踊る埴輪」は、埴輪の代名詞とも言える多くの人がイメージする埴輪です。しかし、唯一熊谷市の出土であることは意外と知られていません。そこでこの「踊る埴輪」を、熊谷市の魅力をアピールする地域資源として活用・情報発信していきます。
【内容】
・「踊る埴輪」を３Ｄ計測してデータ化し、そのデータを基に1/10スケールの樹脂型を作成し、多くの方々に手軽に楽しく、ストラップづくりの体験をしていただきます。
・令和５年から、行田おもてなし観光局が主体となって古墳観光の裾野を広げることを目的として、近隣６市１町（行田市・熊谷市・羽生市・東松山市・深谷市・久喜市・吉見町）で始めた、主に関東・東海・近畿地方で展開される「御墳印」に、「踊る埴輪」を出土した「野原古墳」（前方後円墳）を追加・販売し、古墳を基軸にした地域を超えた連携を目指します。
・「踊る埴輪」の解説リーフレットを作成、広く配布し、観光資源としてＰＲを促進します。
【効果】
『「踊る埴輪」と言えば熊谷市』のイメージを定着させることにより、熊谷市の魅力がＵＰします。

2 特徴やPRポイント

令和６年度は、桂甲の武人（群馬県太田市出土）国宝指定５０周年を記念して、全国各地から約１２０件の選りすぐりの埴輪が集結した特別展「はにわ」が、東京国立博物館・九州国立博物館で開催され、全国的に空前の埴輪ブームとなっています。
「踊る埴輪」も修理プロジェクトが終わり、同展で初お披露目、特別展のプロローグとしてトップバッターに展示され、注目されているとともに、数々のグッズも販売され、改めてその独特な「ゆるさ」に象徴される愛らしいキャラクター性に注目が集まっています。
熊谷市では、埴輪といえばこれ！と多くの人が思う最も有名な埴輪「踊る埴輪」を、本市の魅力をアピールする地域資源として、その独特のキャラクター性を積極的に活用して、情報発信します。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会社会教育課（江南文化財センター）　担当　森田
連絡先　℡048-536-5062　内線

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「友山・武香物語」マンガ制作事業

1 事業概要

【目的】
郷土の偉人を紹介するマンガシリーズの第３弾として編集・発行し、市民の郷土熊谷への愛着と誇りを醸成することを目的とします。
【内容】
幕末から明治期の激動の日本で、江戸時代から大里地域の豪農だった根岸家の友山は、維新の志士・思想家として、また子の武香は政治家・好古家として活躍しました。この「根岸友山・武香」親子の功績から１０のエピソードを取り上げ、それぞれに解説をつけ、約５０頁のＡ５判ブックレット形式のマンガを制作・刊行します。
【影響・効果】
マンガ形式で紹介することにより、小学生から大人までが気軽に郷土の偉人を知る機会をもつことができます。そして根岸友山・武香という、文武両道で埼玉県の発展に貢献した、郷土の誇るべき人物を再認識することができ、郷土への愛着と誇りを持つことができます。

2 特徴やPRポイント

市内小・中学生全員へ無料配布し、郷土の偉人の事績を、学生の時から知る機会を設け、学校での総合学習の時間等での利用を促します。また、一般有償頒布として一冊500円で販売（熊谷図書館３階美術・郷土資料展示室、八木橋須原屋書店）し、多くの市民に親しまれるようにします。

3 その他

令和５年度刊行のマンガ「直実・蓮生物語」、令和６年度刊行予定のマンガ「斎藤実盛と妻沼聖天山」に続く《郷土の偉人シリーズ》です。

※ 資料の有無（　有　・（無））

担当者　教育委員会熊谷図書館　　担当　大井教寛
連絡先　℡　048－525－4551　　内線

＜速報＞
令和6年度3月補正予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

小学校トイレ整備事業

1 事業概要

【目的】
児童の教育環境の向上を図るため、学校トイレの整備を計画的に実施します。

【内容】
学校トイレの老朽化対策として、給排水管の改修、トイレの洋式化、床の乾式化等の工事について、校舎の経年数等を勘案し、毎年度計画的に実施しています。
令和７年度に工事を予定している次の学校について、国から「令和６年度学校施設環境改善交付金」の交付決定を受けたため、令和６年度３月補正予算に計上し、令和７年度に繰り越して実施します。
＜小学校＞　別府小学校、吉見小学校

【影響・効果】
学校トイレは、児童が学校生活を送る上で欠かせない空間であり、整備を行うことで子どもたちが気持ちのよい学校生活を送ることができます。

2 特徴やPRポイント

平成３０年度から事業を開始し、令和７年度をもって、予定していた全ての学校での整備が完了となります。
※中学校については、令和６年度をもって完了しました。

工事対象校：小学校（２５校）、中学校（１６校）

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会教育総務課　　担当　笠原、角張
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　517

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
シティプロモーション事業

1 事業概要

【目的】
熊谷市の「歴史・文化」、「産業」、「スポーツ」、「ＤＸ」を特に注力する分野として、地域の魅力を「見つける、創る、磨く」活動や、市内外に情報を発信する活動など、熊谷市の価値やイメージを高める活動を熊谷市のシティプロモーションとして定義し、それらの活動によって、「熊谷市のファンを増やす」ことを目的としています。

【主な内容】
シティプロモーション動画作成・公開、シティプロモーションロゴの活用、市公式ＳＮＳを活用した情報発信　など

【経緯】
令和５年４月　「シティプロモーションに関すること。」が広報広聴課の分掌事務となる。
令和６年３月　「熊谷市シティプロモーション推進方針」策定。
令和７年度～　広報発行事業から独立して予算化。

2 特徴やPRポイント

・シティプロモーション動画
令和６年度から作成中で、令和７年秋ごろ完成予定です。熊谷市出身の加藤ひさしさんがボーカルを務める「THE COLLECTORS」の楽曲「パレードを追いかけて」のオリジナルアレンジ楽曲を使用します。
・シティプロモーションロゴ
現在作成中で、今後グッズ展開などを予定しています。
・クマガヤサポーター
熊谷市と一緒に地域の魅力づくりや魅力発信に貢献する活動を行う事業者を募集しています。今後、「クマガヤサポーター」とのコラボ商品など、さまざまなかたちで連携していく予定です。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　市長公室広報広聴課　　担当　藤村・富田
連絡先　℡ 048-524-1156（直通）　　内線　206

＜速報＞
令和7年度当初予算(案)概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
地域会館整備事業

１ 事業概要

【目的】
施設マネジメントの一環として、生涯活動センターと共に既存の市民文化施設の機能を引き継ぐ「地域会館」を、市内３０か所に順次整備していきます。生涯学習や地域活動の場として、地域住民に親しまれる施設を目指します。
【内容】
令和７年度は、三尻、佐谷田、大幡、大麻生の４地域（小学校区）で整備します。既存公民館を建て替える形での整備となります。
【影響】
今回整備の４件は、新施設建築後に既存施設の廃止・解体を行う予定のため、利用者には切れ目なく施設を利用していただくことができます。
【効果】
既存施設よりもコンパクトな施設とすることで、長期的な財政負担の軽減を図り、持続可能性を確保していきます。一方で、既存施設よりも高機能の施設とすることで、市民・利用者へのサービス向上を目指します。

２ 特徴やPRポイント

○延床面積200㎡以下（ホール・会議室各１）
小規模な施設ですが、要望の多かったホール壁面（1面）の鏡張りを採用しており、身体を動かす活動に便利です。また、地域の要望により１室（会議室）を上足仕様とし、子育て支援などのニーズにも対応できます（整備時選択式）。
○木造平屋建
親しみやすい木造（木質化）にするとともに、階段やエレベータが不要な平屋建てとし、限られた床面積を最大限活用できる仕様としました。
○ユニバーサル仕様ほか
大人も使えるユニバーサルシート付きの多機能トイレや授乳・おむつ替えスペースを備え、だれでも使いやすい施設を目指しました。高断熱仕様での空調を完備し、環境への配慮と快適性を両立させます。個人利用が可能なフリースペース（活動・交流スペース）とフリーWi-Fi環境を整備し、若年世代を含むより広い世代のニーズにも対応します。

３ その他

昨年3・4月にパブコメを実施し、また、各地域でも説明会（おおむね5月）と報告会（10月）を開催して、市民や地域の方の意見も取り入れて設計しました。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会中央公民館　　担当　島﨑
連絡先　℡　048-523-0895(直通)　　内線　ー

＜速報＞
令和7年度当初予算（案）概要
令和7年2月13日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷市長選挙事業

1 事業概要

【目的】
令和７年１１月５日任期満了の熊谷市長選挙を執行します。

【内容】
選挙期日等は、今後の選挙管理委員会にて決定します。

2 特徴やPRポイント

3 その他

投票率　前回　　令和　３年１０月３１日　５７．７４％
　　前々回　平成２９年１０月２９日　無投票

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　選挙管理委員会事務局　　担当　原　光則
連絡先　TEL　048-524-1111　　内線　397